

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	サロンワークⅡ－F		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅡ－F		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式			出版社	NPO法人日本ネイリスト協会
科目の基礎情報②					
授業のねらい	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、 実践を通して技術を習得する。 ②「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①お客様に施術などの説明ができ、満足の頂ける技術及び接客ができる。 ②日ごろの授業のアウトプットとして人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	①授業態度他20％・接客態度他40％・技術レベル30％ ②レポート10％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	遠藤　しのぶ			実務経験	○
実務内容	都内やカナダのネイルサロンで日本ネイリスト協会本部認定講師ネイリストとして15年勤務をした実務経験を基に、サロン運営・施術をシミュレーションを行いながら教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	1年次復習	・様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ ・BEAUTY SHOWを通じ、「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける			
2	サロンワーク技術				
3	サロンワーク技術				
4	サロンワーク技術				
5	サロンワーク技術				
6	サロンワーク技術				
7	サロンワーク技術				
8	サロンワーク技術				
9	サロンワーク技術				
10	サロンワーク技術				
11	サロンワーク技術				
12	サロンワーク技術				
13	サロンワーク技術				
14	サロンワーク技術				
15	総合授業	総まとめを行う			

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	サロンワークⅢ－F		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅢ－F		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式			出版社	NPO法人日本ネイリスト協会
科目の基礎情報②					
授業のねらい	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、 実践を通して技術を習得する。 ②「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①お客様に施術などの説明ができ、満足の頂ける技術及び接客ができる。 ②日ごろの授業のアウトプットとして人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	①授業態度他20％・接客態度他40％・技術レベル30％ ②レポート10％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	遠藤　しのぶ			実務経験	○
実務内容	都内やカナダのネイルサロンで日本ネイリスト協会本部認定講師ネイリストとして15年勤務をした実務経験を基に、サロン運営・施術をシミュレーションを行いながら教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	前期振り返り	・様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフレイヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ			
2	サロンワーク技術				
3	サロンワーク技術				
4	サロンワーク技術				
5	サロンワーク技術				
6	サロンワーク技術				
7	サロンワーク技術				
8	サロンワーク技術				
9	サロンワーク技術				
10	サロンワーク技術				
11	サロンワーク技術				
12	サロンワーク技術				
13	サロンワーク技術				
14	サロンワーク技術				
15	総合授業	総まとめを行う			

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	施設実習		
必修選択	選択	(学則表記)	施設実習		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	80
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業の現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。		
到達目標	社会人としてマナーや敬語を使用することができる。 スタッフ間のスムーズな報告連絡相談を行うことができる。		
評価基準	企業側評価 6 0 % 学校側評価 4 0 %（ビジネスマナー 2 0 %・各コース該当項目 2 0 %）		
認定条件	・ 出席が総時間数の 5 0 時間以上の者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目	就職対策Ⅱ・Ⅲ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	岡崎　由佳　他2名	実務経験	○
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして 2 0 年勤務をした実務経験を基に、サロン運営・施術をシミュレーションを行いながら教授する		

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	各校就職ガイドBOOK			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職活動に向けて具体的な対策と社会人になるための知識を身につける。				
到達目標	就職活動の流れを理解する。 魅力的な履歴書の書き方を習得する。 面接方法が実践できる。				
評価基準	授業態度30%・提出物30%・面接40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	岡崎 由佳 他2名			実務経験	○
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして20年勤務をした実務経験を基に、サロン運営・施術をシミュレーションを行いながら教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職活動について	就職活動のルールについて理解する
2	社会で求められる人材について	社会で求められる能力を理解する
3	履歴書作成①	志望動機・自己PRを作成し、履歴書を完成させる
4	履歴書作成②	
5	面接練習①	・グループ面接の重要性を理解し、グループ面接を実践する ・よく聞かれる質問に対して、受け答えが出来るように学ぶ
6	面接練習②	
7	面接練習③	・WEB面接の重要性を理解し、WEB面接を実践する ・よく聞かれる質問に対して、受け答えが出来るように学ぶ
8	面接練習④	
9	グループディスカッション①	グループディスカッションの進め方を理解する
10	グループディスカッション②	グループディスカッションの役割を理解し、グループディスカッションを実践する
11	グループディスカッション③	
12	面接練習⑤	個人面接の重要性を理解し、個人面接を実践する。よく聞かれる質問に対して、受け答えが出来るように学ぶ
13	面接練習⑥	
14	面接練習⑦	
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅳ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅳ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	各校就職ガイドBOOK			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職に向けて具体的な対策と社会人になるための知識を身につける。				
到達目標	就職活動の流れを理解する。 社会人に必要なマナーやスキルを理解する。				
評価基準	授業態度 40%・提出物 30%・テスト 30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	岡崎 由佳 他2名			実務経験	○
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして20年勤務をした実務経験を基に、サロン運営・施術をシミュレーションを行いながら教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	社会人とは	社会の一員となることを理解する
2	社員とアルバイトの求められるものの違い	社員とアルバイトの求められるものの違いを理解する
3	社会人基礎力について	社会人として求められる考え方・行動について理解する
4	社会人に求められるスキルについて①	働くにあたり、どのようなスキルが必要なのかを理解する
5	仕事の進め方	仕事の進め方について学ぶ
6	社内マナーについて	社内のマナーについて学ぶ
7	人間関係構築力について①	良い人間関係を築く為に、どのように行動したらいいのかを学ぶ
8	人間関係構築力について②	良い人間関係を築く為に、どのように行動したらいいのかを学ぶ
9	To Do リスト作成について①	優先順位の立て方を理解し、どのように仕事を行うのかを学ぶ
10	スケジュール管理について	スケジュールに立て方、管理の仕方を学ぶ
11	年賀状の書き方について	内定を頂いている企業様へ年賀状を書く年賀状の書き方を学ぶ
12	初期クレーム対応の仕方について①	クレームが発生する時はどのようなケースが多いのかを学ぶ
13	初期クレーム対応の仕方について②	クレーム発生時の初期対応の仕方について学ぶ
14	テスト	テストを実施する
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	着付けⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	着付けⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	教本・衿芯・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも（モスリン（4点））・和装スリッパ（下着）・クリップ（2本セット）足袋		出版社	桜花出版 KW	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることができる。 技術の習得目安として、 ・きもの着付け3級（6月強制受験 免許強制） を取得することができる。				
評価基準	検定試験：40％ テスト：30％ 授業態度：30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、 一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格				
関連科目	着付けⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	坊城 美奈子 他1名			実務経験	○
実務内容	着付け師、着付け講師を21年間携わり、着付けに必要な知識、技術を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考查票の記入、足袋サイズの確認			
2	小紋の着せ方1	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する			
3	小紋の着せ方2	小紋の着付（裾線、衿合せ）、たたみ方を学び実践する			
4	小紋の着せ方3	小紋の着付（お端折の作り方）を学び実践する			
5	小紋の着せ方4	半幅帯（蝶結び）の結び方を学び実践する 小テスト（着物の名称）を実施する			
6	小紋の着せ方5	小紋の着付を仕上げる（検定対策）			
7	小紋の着せ方6	小紋の着付を仕上げる（検定対策）			
8	小紋の着せ方7	小紋の着付を仕上げる（検定対策）			
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて			
10	検定試験	きもの着付け3級検定（小紋の着付と蝶結び20分）を実施する たたみ方テストを実施する			
11	座学1	着物の名称と用語（プリント①②）について 試験結果を通知する			
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方（自装）と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する			
13	小紋と名古屋帯1	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する			
14	小紋と名古屋帯2	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する			
15	総合学習	小紋の着付（仕上げ）と総まとめを行う			

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	着付けⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	着付けⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	教本・衿芯・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも（モスリン（4点））・和装スリッパ（下着）・クリップ（2本セット）足袋		出版社	桜花出版 KW	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることができる。 技術の習得目安として、 ・きもの着付け3級（6月強制受験 免許強制） を取得することができる。				
評価基準	検定試験：40％ テスト：30％ 授業態度：30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、 一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格				
関連科目	着付けⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	坊城 美奈子 他1名			実務経験	○
実務内容	着付け師、着付け講師を21年間携わり、着付けに必要な知識、技術を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考查票の記入、足袋サイズの確認			
2	小紋の着せ方1	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する			
3	小紋の着せ方2	小紋の着付（裾線、衿合せ）、たたみ方を学び実践する			
4	小紋の着せ方3	小紋の着付（お端折の作り方）を学び実践する			
5	小紋の着せ方4	半幅帯（蝶結び）の結び方を学び実践する 小テスト（着物の名称）を実施する			
6	小紋の着せ方5	小紋の着付を仕上げる（検定対策）			
7	小紋の着せ方6	小紋の着付を仕上げる（検定対策）			
8	小紋の着せ方7	小紋の着付を仕上げる（検定対策）			
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて			
10	検定試験	きもの着付け3級検定（小紋の着付と蝶結び20分）を実施する たたみ方テストを実施する			
11	座学1	着物の名称と用語（プリント①②）について 試験結果を通知する			
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方（自装）と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する			
13	小紋と名古屋帯1	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する			
14	小紋と名古屋帯2	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する			
15	総合学習	小紋の着付（仕上げ）と総まとめを行う			

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	着付けⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	着付けⅡ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科		30
使用教材	教本・衿芯・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも（モスリン（4点））・和装スリッパ（下着）・クリップ（2本セット）足袋		出版社	桜花出版 KW	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることができる。 技術の習得目安として、 ・きもの着付け2級（12月強制受験 免許任意） を取得することができる。				
評価基準	検定試験：40％ テスト：30％ 授業態度：30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、 一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格				
関連科目	着付けⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	坊城 美奈子 他1名		実務経験	○	
実務内容	着付け師、着付け講師を21年間携わり、着付けに必要な知識、技術を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	振袖の着せ方1	授業の流れ、到達目標について説明する、考查票の記入、補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する			
2	振袖の着せ方2	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する			
3	振袖の着せ方3	ふくら雀の結び方について学び実践する			
4	振袖の着せ方4	振袖の着付を仕上げる（検定対策）			
5	振袖の着せ方5	振袖の着付を仕上げる（検定対策）			
6	振袖の着せ方6	振袖の着付を仕上げる（検定対策）			
7	振袖の着せ方7	振袖の着付を仕上げる（検定対策）			
8	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて			
9	検定試験	きもの着付け2級検定試験（振袖にふくら雀30分）を実施する			
10	座学2	着物のTPO（プリント③④）について			
11	小紋の着方1	小紋の着方（自装）を学び実践する			
12	小紋の着方2	名古屋帯のお太鼓結び（自装の仕上げ）、着物の立居振舞を学び実践する			
13	留袖の着せ方1	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について			
14	留袖の着せ方2	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ			
15	総合学習	女袴の着せ方と総まとめを行う			

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	着付けⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	着付けⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	教本・衿芯・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも（モスリン（4点））・和装スリッパ（下着）・クリップ（2本セット）足袋		出版社	桜花出版 KW	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることができる。 技術の習得目安として ・きもの着付け2級（12月強制受験 免許任意） を取得することができる。				
評価基準	検定試験：40％ テスト：30％ 授業態度：30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、 一般財団法人京都きもの伝承文化協会の きもの着付け資格				
関連科目	着付けⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	坊城 美奈子 他1名			実務経験	○
実務内容	着付け師、着付け講師を21年間携わり、着付けに必要な知識、技術を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	振袖の着せ方1		授業の流れ、到達目標について説明する、考查票の記入、補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する		
2	振袖の着せ方2		袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する		
3	振袖の着せ方3		ふくら雀の結び方について学び実践する		
4	振袖の着せ方4		振袖の着付を仕上げる（検定対策）		
5	振袖の着せ方5		振袖の着付を仕上げる（検定対策）		
6	振袖の着せ方6		振袖の着付を仕上げる（検定対策）		
7	振袖の着せ方7		振袖の着付を仕上げる（検定対策）		
8	検定向上会		総仕上げ、検定試験の流れについて		
9	検定試験		きもの着付け2級検定試験（振袖にふくら雀30分）を実施する		
10	座学2		着物のTPO（プリント③④）について		
11	小紋の着方1		小紋の着方（自装）を学び実践する		
12	小紋の着方2		名古屋帯のお太鼓結び（自装の仕上げ）、着物の立居振舞を学び実践する		
13	留袖の着せ方1		留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について		
14	留袖の着せ方2		二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ		
15	総合学習		女袴の着せ方と総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ヘアアレンジⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアアレンジⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		1 45
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト		出版社	ユアサポート	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する。 お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアアレンジⅠⅢ、ブライダルメイクⅠⅡ、アーティストメイクⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	本美 さちこ		実務経験	○	
実務内容	美容室に勤務しブライダルヘアメイクを中心にヘアメイクアップアーティストとして現役活動。頭部の名称からヘアアレンジの基礎 知識・現場での基礎技術を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション 1年次復習	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 1年次復習(ピン・ホットカーラー・ヘアアイロンなど)/振り返り			
2	テーマに合わせたスタイル①	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(導入・練習)			
3	テーマに合わせたスタイル②	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(練習)			
4	テーマに合わせたスタイル③	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(テスト・振り返り)			
5	土台の作り方 逆毛の立て方・すき毛の使用	土台(導入・練習) 逆毛・すき毛(導入・練習)			
6	夜会巻①	夜会巻・本夜会(導入・練習)			
7	夜会巻②	夜会巻・本夜会(練習)			
8	夜会巻③	重ね夜会・本夜会(テスト・振り返り)			
9	和装・洋装スタイル①	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成			
10	和装・洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成			
11	和装・洋装スタイル③	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成			
12	和装・洋装スタイル④	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成			
13	和装・洋装スタイル⑤	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成			
14	和装・洋装スタイル⑥	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成			
15	総合授業	まとめを行う			

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ヘアアレンジⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアアレンジⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		1 45
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト		出版社	ユアサポート	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する。 お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアアレンジⅠⅡ、ブライダルメイクⅠⅡ、アーティストメイクⅠⅡ、特殊メイクⅠ、特殊メイクⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	本美 さちこ		実務経験	○	
実務内容	美容室に勤務しブライダルヘアメイクを中心にヘアメイクアップアーティストとして現役活動。頭部の名称からヘアアレンジの基礎 知識・現場での基礎技術を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	新日本髪①		授業の目的目標、評価基準、授業ルールの再確認 新日本髪(導入・練習)		
2	新日本髪②		新日本髪(練習)		
3	新日本髪③		新日本髪(テスト・振り返り)		
4	和装・洋装スタイル①		トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成		
5	和装・洋装スタイル②		トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成		
6	和装・洋装スタイル③		トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成		
7	和装・洋装スタイル④		トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成		
8	和装・洋装スタイル⑤		トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成		
9	和装・洋装スタイル⑥		トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成		
10	和装・洋装スタイル⑦		トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成		
11	和装・洋装スタイル⑧		トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成		
12	卒業制作①		テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)		
13	卒業制作②		テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)		
14	卒業制作③		テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)		
15	総合授業		まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ビューティーカウンセラーメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーカウンセラーメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	メイク道具一式、ブランドコスメ メイクアップテキストアドヴァンス（デジタルテキスト） 化粧品検定協会テキスト		出版社	ユアサポート 主婦の友社	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する。 スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する。				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる。 スキンケアの基礎知識を深めお客様の悩みお解消できるようになる。				
評価基準	テスト30%、検定取得20%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス、日本化粧品検定3級・2級				
関連科目	ビューティーカウンセラーメイクⅡ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	瀬尾 桃加		実務経験	○	
実務内容	美容専門学校卒業後、ゲストハウスのヘアメイク担当として5年勤務 現場経験を活かし、メイクの業界で求められる人材や接客においての言葉使い、また化粧品のブランドについての知識を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	オリエンテーション アドヴァンス検定詳細説明/対策①		授業の目的目標、評価基準、授業ルール 検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの詳細説明/練習		
2	アドヴァンス検定対策②		検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策		
3	アドヴァンス検定対策③		検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策		
4	アドヴァンス検定対策④		検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策		
5	アドヴァンス検定対策⑤		検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策		
6	アドヴァンス検定対策⑥		検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策		
7	アドヴァンス検定対策⑦		検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策		
8	アドヴァンス検定対策⑧		検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策		
9	化粧品検定級対策① 間違いな美容知識をチェック		1年次復習		
10	化粧品検定級対策② 皮膚・肌について知ろう		皮膚の構造～皮膚の機能(大項目)		
11	化粧品検定級対策③ 肌の手入れと正しい知識		メイクアップの基本テクニック～肌悩みに応じた化粧品の使い方(大項目)		
12	化粧品検定級対策④ 肌の手入れと正しい知識		肌タイプと見分け方～肌悩みに原因とお手入れ(大項目)		
13	化粧品検定級対策⑤ 美肌・美ボディ生活を送るには		肌を劣化させるさまざまな要因～美しい肌を作る生活習慣(大項目)		
14	化粧品検定級対策⑥ 復習		化粧品検定2級受験に向けての復習		
15	総合授業		まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ビューティーカウンセラーメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーカウンセラーメ イクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	メイク道具一式、ブランドコスメ メイクアップテキストアドヴァンス（デジタルテキスト） 化粧品検定協会テキスト		出版社	ユアサポート 主婦の友社	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する。 スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する。				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる。 スキンケアの基礎知識を深めお客様の悩みお解消できるようになる。				
評価基準	テスト30％、検定取得20％、提出物30％ 授業意欲20％				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス				
関連科目	ビューティーカウンセラーメイクⅠ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	瀬尾 桃加		実務経験	○	
実務内容	美容専門学校卒業後、ゲストハウスのヘアメイク担当として5年勤務 現場経験を活かし、メイクの業界で求められる人材や接客についての言葉使い、また化粧品のブランドについての知識を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション	授業の目的目標、評価基準、授業ルール			
2	BCの仕事、百貨店とは・化粧品メーカーの組織・身だしなみについて	意識付け/ハンドデモを入れた一連の接客デモンストレーション ※各校判断で企業とタイアップ			
3	製品特徴・アプローチ法	各カテゴリーごとの製品の役割、種類、特徴、メリットデメリット、選ぶ基準等			
4	化粧品と法律（医薬部外品等）、化粧品の定義、成分表示	ナチュラルコスメとオーガニックコスメの違いなども含め興味を持たせる			
5	カウンセリングの流れ・ロープレ	カウンセリングの流れを確認			
6	接客について、おもてなしの心、クレーム、スキンケア	接客する際の注意点、おもてなしとは、クレームの事例対処 肌の仕組みを学ぶ、季節ごとの肌変化			
7	世代に合わせたカウンセリングメイクテクニック	世代別の肌悩みを知る メイクアップのアドバイスの仕方を学ぶ			
8	世代に合わせたカウンセリングメイクテクニック	世代に合わせたメイクアップの提案			
9	世代に合わせたカウンセリングメイクテクニック	世代に合わせたメイクアップの提案			
10	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて①	オンラインで行う際のお客様へ商品のご提案			
11	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて②	商品をPRする方法(写真映え、加工、キャッチコピー)			
12	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて③	商品をPRする方法(写真映え、加工、キャッチコピー)、SNS投稿検証			
13	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて④	オンラインでカウンセリングを行う時に対応方法 カウンセリングの方法			
14	総復習	テスト、振り返り			
15	総合授業	まとめを行う			

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ブライダルメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		2 45
使用教材	メイク道具一式、ヘアアレンジ道具一式、 ブライダル雑誌		出版社	なし	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学ぶ。 現場を意識した技術を出来るようになる。				
到達目標	ブライダルメイクの基礎を理解し実践でできるようになる。				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアアレンジⅡⅢ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	本美 さちこ		実務経験	○	
実務内容	美容室に勤務しブライダルヘアメイクを中心にヘアメイクアップアーティストとして現役活動。頭部の名称からヘアアレンジの基礎 知識・現場での基礎技術を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション 基本知識	授業の目的目標、評価基準、授業ルール ブライダルプランニング、ヘアメイクの仕事、衣装の種類			
2	ブライダル概論・基礎知識・コラージュ 作成	挙式の種類・挙式と披露宴会場とスタイル・ブライダル用語			
3	洋装①	ブライダルメイクの基本(ベースメイク)			
4	洋装②	ブライダルメイクの基本(ポイントメイク)			
5	洋装③	ブライダルメイクの基本(ドレス別)			
6	洋装④	お色直しの方法、ヘア概論			
7	洋装⑤	テスト、振り返り			
8	ゲストメイク①	ドレス別ヘアメイク			
9	ゲストメイク②	お母様 黒留袖メイク			
10	和装①	基礎知識(歴史、かつら、専門用語)			
11	和装②	白無垢化粧の練習を入れる			
12	和装③	色打掛・引き振袖（黒）			
13	和装④	白無垢化粧			
14	和装⑤	白無垢化粧			
15	総合授業	まとめを行う			

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ブライダルメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		2 45
使用教材	メイク道具一式、ヘアアレンジ道具一式、 ブライダル雑誌		出版社	なし	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学ぶ。 現場を意識した技術を出来るようになる。				
到達目標	ブライダルメイクの基礎を理解し実践でできるようになる。				
評価基準	テスト50％、提出物30％、授業意欲20％				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアアレンジⅡⅢ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	本美 さちこ		実務経験		○
実務内容	美容室に勤務しブライダルヘアメイクを中心にヘアメイクアップアーティストとして現役活動。頭部の名称からヘアアレンジの基礎 知識・現場での基礎技術を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	白ドレス～色ドレス～までの流れ		＊ドレス補正ポイントメイキング＆インナーについて(導入、実践)		
2	お色直しの基本知識		和装 →洋装 一連の流れの実習 (導入、実践)		
3	ゲストヘアメイク		シーンに応じたヘアメイク (導入、実践)		
4	着物ヘアメイク①		着物スタイル		
5	着物ヘアメイク②		理論・着物別・年齢別のメイク		
6	成人式ヘアメイク①		理論・着物別・年齢別のメイク 基本知識とテクニック		
7	七五三ヘアメイク		七五三の歴史・由来・小物・着物		
8	パーティーヘアメイク		シーンに応じたヘアメイク		
9	テスト		テスト、振り返り		
10	卒業制作①		卒業制作(導入、実践)		
11	卒業制作②		卒業制作(実践)		
12	卒業制作③		卒業制作(実践)		
13	卒業制作④		卒業制作		
14	卒業制作⑤		卒業制作(実践、振り返り)		
15	総合授業		まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	特殊メイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	特殊メイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		2 45
使用教材	メイク道具一式・エアブラシ道具・ボディージュエリー道具、その他特殊用品等		出版社	なし	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ボディアート、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする。				
到達目標	特殊メイクを通じて、メイクの知識を深める。 メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる。				
評価基準	テスト50％、提出物30％、授業意欲20％				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアアレンジⅡⅢ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E、アーティストメイクⅠ、アーティストメイクⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	鶴岡　わかな		実務経験		○
実務内容	美容専門学校卒業後、ヘアメイク事務所へ勤務。現在はフリーランスとして従事。現場経験を活かし、ドラマ・映画・舞台等で使用される特殊メイクを教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション 老人メイク①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法) 老人メイク導入			
2	老人メイク②	老婆のメイクを実践する			
3	老人メイク③	老父のメイクを実践する			
4	舞台メイク①	舞台メイク導入			
5	舞台メイク②	舞台の女役メイクを実践する			
6	舞台メイク③	舞台の男役メイクを実践する			
7	舞台メイク④	テスト			
8	ボディアート	ボディアート等の実践			
9	キャラクターメイク①	テーマに合わせたメイクを実践する			
10	キャラクターメイク②	テーマに合わせたメイクを実践する			
11	キャラクターメイク③	テーマに合わせたメイクを実践する			
12	キャラクターメイク④	テーマに合わせたメイクを実践する テスト、振り返り			
13	傷メイク①	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの導入			
14	傷メイク②	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの実践			
15	総合授業	まとめを行う			

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	特殊メイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	特殊メイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		2 45
使用教材	メイク道具一式・エアブラシ道具・ボディージュエリー道具、その他特殊用品等		出版社	なし	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ボディアート、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする。				
到達目標	特殊メイクを通じて、メイクの知識を深める。 メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる。				
評価基準	テスト50％、提出物30％、授業意欲20％				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアアレンジⅡⅢ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E、アーティストメイクⅠ、アーティストメイクⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	鶴岡　わかな		実務経験		○
実務内容	美容専門学校卒業後、ヘアメイク事務所へ勤務。現在はフリーランスとして従事、現場経験を活かし、ドラマ・映画・舞台等で使用される特殊メイクを教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	アニマルメイク①		テーマに基づいたメイクの導入・実践		
2	アニマルメイク②		デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践		
3	アニマルメイク③		デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践		
4	アニマルメイク④		デッサンシートの基づいたメイク(テスト、振り返り)		
5	日本の伝統メイク①		テーマに基づいたメイクの導入・実践		
6	日本の伝統メイク②		デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践		
7	日本の伝統メイク③		デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践		
8	ボディーペイント①		テーマに基づいたメイクの導入・実践		
9	ボディーペイント②		デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践		
10	ボディーペイント③		デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践		
11	卒業制作①		卒業制作(導入、実践)		
12	卒業制作②		卒業制作(実践)		
13	卒業制作③		卒業制作(実践)		
14	卒業制作④		卒業制作(実践、振り返り)		
15	総合授業		まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	アーティストメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	アーティストメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストアドヴァンス（デジタルテキスト）		出版社	なし	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする。				
到達目標	トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身につける。 様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身につける。				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	フォト&ファッションⅠⅡ、特殊メイクⅠⅡ、ヘアアレンジⅡⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	神前 杏奈		実務経験	○	
実務内容	合同会社マリブその他の企業ともアーティスト契約、フリーランスとしてヘアメイク業に従事、現場経験を活かし、モデルのポジング・カメラ・照明等を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	オリエンテーション ベースメイク①		授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 ベースメイク導入、実践		
2	ベースメイク② ポイントメイク		ベースメイク復習 ポイントメイク実践		
3	ショーメイク①		立体感や骨格をとらえたメイク(導入、実践)		
4	ショーメイク②		Wラインの使ったメイク(導入、実践)		
5	ショーメイク③		グリッター・メイク用品のデコレーション素材の使い方(導入、実践)		
6	ショーメイク④		色の発色、グラデーションの見せ方(導入、実践)		
7	ショーメイク⑤		テーマに沿った、フルメイク(テスト、振り返り)		
8	スチールメイク①		フォトコンで行うメイク制作(導入、実践) テーマに合わせて行う		
9	スチールメイク②		フォトコンで行うメイク制作(実践) テーマに合わせて行う		
10	スチールメイク③		フォトコンで行うメイク制作(テスト) テーマに合わせて行う		
11	スチールメイク④		テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り		
12	トレンドメイク①		トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(導入、実践) テーマに合わせて行う		
13	トレンドメイク②		トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践) テーマに合わせて行う		
14	トレンドメイク③		トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践) テーマに合わせて行う		
15	総合授業		まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	アーティストメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	アーティストメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		2 45
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストアドヴァンス（デジタルテキスト）		出版社	なし	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする。				
到達目標	トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身につける。 様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身につける。				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	フォト＆ファッションⅠⅡ、特殊メイクⅠⅡ、ヘアアレンジⅡⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	神前 杏奈		実務経験		○
実務内容	合同会社マリブその他の企業ともアーティスト契約、フリーランスとしてヘアメイク業に従事、現場経験を活かし、モデルのボージン グ・カメラ・照明等を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	メイクの歴史		古代～中世～近代のメイクについて (時代背景や特徴について)		
2	年代別のメイク①		年代別 20、30、40		
3	年代別のメイク②		年代別 50		
4	年代別のメイク③		年代別 60		
5	年代別のメイク④		年代別 70、80		
6	年代別のメイク⑤		年代別 90、2000		
7	年代別のメイク⑥		年代別の技術まとめ フルメイクテスト、振り返り		
8	卒業制作①		卒業制作(導入、実践)		
9	卒業制作②		卒業制作(実践)		
10	卒業制作③		卒業制作(実践)		
11	卒業制作④		卒業制作(実践)		
12	卒業制作⑤		卒業制作(実践)		
13	卒業制作⑥		卒業制作(実践)		
14	卒業制作⑦		卒業制作(実践、振り返り)		
15	総合授業		まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	フォト&ファッションⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	フォト&ファッションⅠ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科		15
使用教材	【フォト】カメラ機材 【ファッション】スマホアプリ(VOGUERUNWAY等)、雑誌(VOGUE/MODE ET MODE 等) 共通⇒筆記用具・ノート…ファイル		出版社	なし	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	【フォト】写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所によつての注意点等を理解し、実践力を身につける。 【ファッション】ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める。				
到達目標	【フォト】色・光・影の出方によるメイク映えを知る/撮影中の注意事項を理解する。 【ファッション】トレンドやファッションの知識を深める/ファッションとメイクアップの関連性を知る。				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	アーティストメイクⅠⅡ、特殊メイクⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	鶴岡 わかな		実務経験	○	
実務内容	美容専門学校卒業後、ヘアメイク事務所へ勤務。現在はフリーランスとして従事、現場経験を活かし、ドラマ・映画・舞台等で使用される特殊メイクを教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	オリエンテーション 光と影について		授業の目的目標、評価基準、授業ルール 教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)		
2	写真のバランス・レイアウト		レイアウトやモデルのポージングについて		
3	撮影光と影の使い方		オート(プログラムオート)で自由に撮影 カメラの構え方やレンズの使い方を知る		
4	撮影光と影の使い方		オート(プログラムオート)で自由に撮影 露出補正を使いながら意図する明るさで撮る		
5	カメラの使い方		撮影のフィードバックとレンズワークによる遠近感の変化 絞りやレンズワークによる背景のボケ方の説明		
6	レフの使い方		室内でレフを使った撮影練習		
7	作品作り①		テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り		
8	作品作り②		テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り		
9	スチール①		テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り		
10	スチール②		テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り		
11	スチール③		テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り		
12	テスト		作品作りに合わせたテスト、振り返り		
13	作品作り③		テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り		
14	作品作り④		テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り		
15	総合授業		まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①						
授業形態	講義	科目名	フォト&ファッションⅡ			
必修選択	選択	(学則表記)	フォト&ファッションⅡ			
開講				単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科		1	15
使用教材	【フォト】カメラ機材 【ファッション】スマホアプリ(VOGUERUNWAY等)、雑誌(VOGUE/MODE ET MODE 等) 共通⇒筆記用具・ノート…ファイル			出版社	なし	
科目の基礎情報②						
授業のねらい	【フォト】写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所によつての注意点等を理解し、実践力を身につける。 【ファッション】ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める。					
到達目標	【フォト】色・光・影の出方によるメイク映えを知る/撮影中の注意事項を理解する。 【ファッション】トレンドやファッションの知識を深める/ファッションとメイクアップの関連性を知る。					
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%					
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者					
関連資格						
関連科目	アーティストメイクⅠⅡ、特殊メイクⅠⅡ					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する					
担当教員	鶴岡 わかな			実務経験		○
実務内容	美容専門学校卒業後、ヘアメイク事務所へ勤務。現在はフリーランスとして従事、現場経験を活かし、ドラマ・映画・舞台等で使用される特殊メイクを教授する					
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります						
各回の展開						
回数	単元		内容			
1	オリエンテーション メイクとの関連について		授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 メイクとファッションの繋がリ			
2	服の歴史について①		服の成り立ち(古代～中世)			
3	服の歴史について②		服の成り立ち(中世～近代)			
4	コレクションについて①		コレクション開催4都市について コレクションの歴史			
5	コレクションについて②		コレクションブランドについて (シーズンサイクルなど)			
6	コレクションについて③		オートクチュール			
7	コレクションについて④		プレタポルテ(レディース・メンズ)			
8	コレクションについて⑤		コレクションの歴史と開催都市等のまとめテスト			
9	トレンドについて①		雑誌、SNSの見方と情報収集			
10	トレンドについて②		トレンド研究を行う			
11	ファッションデザイナー①		雑誌・SNSを使いデザイナーのトレンドを調べる			
12	テスト		テスト			
13	コンセプトシート作成		発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画 (コンセプトシートの作成)			
14	コンセプトシート作成		発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画 (コンセプトシートの作成)			
15	総合授業		まとめを行う			

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	サロンワークⅠ－D		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅠ－D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅲ・フェイシャル・ボディ化粧品 AEAテキスト（サロンマネジメント）		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	①マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営方法を習得する。 ②「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①現場実践を積み、接客力を身に付けるとともに症例数をこなすことでコンサルテーション力を身につける。 ②日ごろの授業のアウトプットとして人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	①実技試験60%/授業態度・提出物など20% ②レポート20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ、エステティックカウンセリングⅢ、エステティック総論Ⅰ－A、エステティック総論Ⅰ－B、アロマセラピーⅡ－G・Ⅲ－G				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	岡崎 由佳		実務経験		○
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして20年勤務をした実務経験を基に、サロン運営・施術をシミュレーションを行いながら教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	サロンワーク導入		サロンマネジメントについて サロンワークの目的・運営方法について		
	美容総合授業		目標立て・ショーのテーマ決め・各セクション、モデル決定 スケジュール立て・デッサンシート作成		
2	サロン立ち上げ企画		接客マナーについて サロン作り・メニュー考案(ディスカッション等)、広報ツール作成		
	美容総合授業		構成シート作成・ドレス決定・演出決め・BGMシート作成・デッサンシート完成		
3	サロン立ち上げ企画		サロンオープン準備		
	美容総合授業		BGM・映像・ヘアメイク練習		
4	サロン立ち上げ企画		サロンオープン準備		
	美容総合授業		BGM・映像・ヘアメイク練習		
5	サロン衛生管理		衛生学 消毒の実践		
	美容総合授業		BGM・映像・ヘアメイク練習		
6	技術練習		サロンオープン準備(フェイシャル)		
	美容総合授業		モデルウォーキング・各セクション、動きの確認		
7	技術練習		サロンオープン準備(フェイシャル)		
	美容総合授業		ショー通しリハーサル		
8	技術練習		サロンオープン準備(フェイシャル)		
	美容総合授業		ショー通しリハーサル		
9	技術練習		サロンオープン準備(ボディ)		
10	技術練習		サロンオープン準備(ボディ)		
11	技術練習		サロンオープン準備(ボディ)		
12	リハーサル		ボディ・フェイシャル		
13	プレオープン		ボディ・フェイシャル ※プレオープンのため無料施術		
14	振り返り		フィードバックからの学び		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	サロンワークⅡ－D		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅡ－D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅲ・フェイシャル・ボディ化粧品 AEAテキスト（サロンマネジメント）		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営方法を習得する。				
到達目標	現場実践を積み、接客力を身に付けるとともに症例数をこなすことでコンサルテーション力を身につける。				
評価基準	実技試験60％/授業態度・提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ、エステティックカウンセリングⅢ、エステティック総論Ⅰ－A、エステティック総論Ⅰ－B、アロマセラピーⅡ－G・・・Ⅲ－G				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	岡崎 由佳		実務経験	○	
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして20年勤務をした実務経験を基に、サロン運営・施術をシミュレーションを行いながら教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	オリエンテーション		オリエンテーション・前期の復習・サロンワーク準備		
2	(例) サロンワーク		サロン実習 適宜振り返りのタイミングを設けながら接客力向上のための取り組みを実施する		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9	(例) サロンワーク		サロン実習 適宜振り返りのタイミングを設けながら接客力向上のための取り組みを実施する		
10					
11					
12					
13					
14					
15	総合授業		総まとめ授業を行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	サロンワークⅠ－E		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅠ－E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティーク		2 60
使用教材	必要に応じたヘアメイク道具一式、筆記用具類		出版社	なし	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う。				
到達目標	現場実践を積み、接客力を身につける。 コミュニケーション力を身につける。				
評価基準	レポート(テスト対応の場合有)50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ビューティークウンセラーメイクⅡ、特殊メイクⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	甲斐切 直美		実務経験	○	
実務内容	ブライダルヘアメイクサロンを20年経営し、現在もブライダル、芸能、ヘアメイク、舞台ヘアメイク他、ヘアメイクアップアーティストとして活動。実務経験を元に、サロン運営・施術をシミュレーションを行いながら教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	サロンワーク導入				
2	1年次復習				
3	サロンワーク技術練習				
4	サロンワーク技術練習				
5	サロンワーク技術練習				
6	サロンワーク技術練習				
7	サロンワーク技術練習				
8	サロンワーク技術練習				
9	サロンワーク技術練習				
10	サロンワーク技術練習				
11	サロンワーク技術練習				
12	サロンワーク技術練習・テスト				
13	サロンワーク技術練習				
14	振り返り				
15	総合授業	総まとめを行う			

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	サロンワークⅡ－E		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅡ－E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		2 60
使用教材	必要に応じたヘアメイク道具一式、筆記用具類		出版社	なし	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う。				
到達目標	現場実践を積み、接客力を身につける。 コミュニケーション力を身につける。				
評価基準	レポート(テスト対応の場合有)50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ビューティーカウンセラーメイクⅠⅡ、特殊メイクⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	甲斐切 直美		実務経験	○	
実務内容	ブライダルヘアメイクサロンを20年経営し、現在もブライダル、芸能、ヘアメイク、舞台ヘアメイク他、ヘアメイクアップアーティストとして活動。実務経験を元に、サロン運営・施術をシミュレーションを行いながら教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	サロンワーク技術練習	・様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ			
2	サロンワーク技術練習				
3	サロンワーク技術練習				
4	サロンワーク技術練習				
5	サロンワーク技術練習				
6	サロンワーク技術練習				
7	サロンワーク技術練習				
8	サロンワーク技術練習				
9	サロンワーク技術練習				
10	サロンワーク技術練習				
11	サロンワーク技術練習				
12	サロンワーク技術練習・テスト				
13	サロンワーク技術練習				
14	振り返り				
15	総合授業	総まとめを行う			

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		2 30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ－Ⅲ／AEAテキスト（各項目）		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。 お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準				
評価基準	筆記試験40％・コンサルテーション40％・授業態度、提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	プロフェイシャルⅠ・Ⅱ・プロボディⅠ・Ⅱ・サロントリートメント・サロンワーク・エステティック総論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	石塚 順子		実務経験		○
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして30年勤務をした実務経験を基に、カウンセリング業務に関する授業を展開する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	1年振り返り		1年生振り返り		
2	コンサルテーションシートの記入について(ボディ)		コンサルテーションシートの記入方法について（ボディ）		
3	コンサルテーションシートの記入について(フェイシャル)		コンサルテーションシートの記入方法について（フェイシャル）		
4	体のバランスと肥満		姿勢の判断やその特徴・体系タイプについて 内臓脂肪型と皮下脂肪型		
5	女性ホルモンとストレスと睡眠 セルライトと水分滞留		内分泌系の関わりとストレスと睡眠 セルライトの段階 水分滞留の判定 成績評価①		
6	ホームケアアドバイス ボディ		運動学・栄養学・食事指導		
7	ホームケアアドバイス フェイシャル		運動学・栄養学・食事指導		
8	AEA上級認定試験対策		コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問		
9	AEA上級認定試験対策		コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問		
10	AEA上級認定試験対策		コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問		
11	コンサルテーションシートの フェイシャル記入について		肌トラブル別の理論的解説・コンサルシートを仕上げる		
12	口頭試問対策		肌トラブル別の理論的解説・コンサルシートを仕上げる 成績評価②		
13	コンサルテーションシートの ボディ 記入について		運動生理について理論的解説・コンサルシートを仕上げる		
14	口頭試問対策		運動生理について理論的解説・コンサルシートを仕上げる 成績評価③		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		2 30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ－Ⅲ／AEAテキスト（各項目）		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。 お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。				
到達目標	AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	筆記試験40％・コンサルテーション40％・授業態度、提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	プロフェイシャルⅠ・Ⅱ・Ⅲ・プロボディⅠ・Ⅱ・Ⅲ・サロントリートメント・サロンワーク・エステティック総論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	石塚 順子		実務経験		○
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして30年勤務をした実務経験を基に、社会人としての一般常識を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲		AJESTHE上級試験筆記範囲 コンサルテーション 口頭試問 成績評価④		
2	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲				
3	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲				
4	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲				
5	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲				
6	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲				
7	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲				
8	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲				
9	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲		AJESTHE上級試験筆記範囲 コンサルテーション 口頭試問 成績評価④		
10	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲				
11	筆記試験		成績評価⑤ 筆記試験模試		
12	AJESTHE上級実技口頭試問対策 実技試験範囲		AJESTHE上級試験範囲 コンサルテーション 口頭試問 実技試験範囲 補填		
13					
14					
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	サロントリートメントⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	サロントリートメントⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		2 45
使用教材	新エステティック学 新エステティック学選択科目編 AEAテキスト西洋・東洋のセラピー クリエース化粧品 セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	選択科目の知識、技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー ・タラソセラピー・ストーンセラピー				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる。				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論(上級)				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	石塚 順子		実務経験		○
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして30年勤務をした実務経験を基に、ボディ・フェイシャルに使用する機器の使用方法を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	サロントリートメント オリエンテーション		担当教員自己紹介・授業の方向付け、年間の学習内容と履修目標と前期成績評価		
2	ハイドロセラピー		理論/タラソセラピーとは歴史・効果・注意・禁忌事項・応用		
3	タラソセラピー		タラソバック デモンストレーション・実技演習 ソルトピーリング/海泥バック/海藻バックなど		
4	リンパドレナージュ		理論 リンパドレナージュとは（歴史・効果）/リンパ液・リンパ節について		
5			理論 リンパドレナージュ/注意・禁忌事項など基本手技/下肢後面・腰背部		
6	総合まとめ		成績評価① 総まとめ（タラソセラピー、リンパドレナージュ）		
7	AEA上級		【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習		
8	エステティシャン 試験対策				
9					
10	オリジナル・スウェディッシュマッサージ導入		オリジナル・スウェディッシュマッサージ導入		
11	スウェディッシュマッサージ練習		オリジナル・スウェディッシュマッサージ練習		
12					
13					
14	実技総まとめ		成績評価②総まとめ（スウェディッシュマッサージ）		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	サロントリートメントⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	サロントリートメントⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		2 45
使用教材	新エステティック学 新エステティック学選択科目編 AEAテキスト西洋・東洋のセラピー クリエース化粧品 セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	選択科目の知識、技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー ・タラソセラピー・ストーンセラピー				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる。				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論Ⅱ－B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	石塚 順子		実務経験		○
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして30年勤務をした実務経験を基に、マッサージの実技を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	オリエンテーション ペディキュア		オリエンテーション ペディキュア デモンストレーション・練習		
2	ペディキュア		ペディキュア練習		
3					
4					
5	東洋医学カッピング リフレクソロジー		理論/東洋医学（西洋医学との違い・経絡・経穴） 基本手技/カッピング		
6	ポドロジー		理論/リフレクソロジー・ポドロジー 基本手技/東洋式・西洋式		
7	ストーンセラピー		理論/ストーンセラピー 基本手技/ストーンセラピー		
8					
9	代替療法 アーユルヴェーダー		インド伝統医学の考え方と療法（理論） アーユルヴェーダーマッサージ（実技）		
10					
11	AJESTE上級 エステティシャン試験対策		【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習		
12					
13					
14	トリートメント総合		トリートメント総合 成績評価④筆記テスト（リフレクソロジー、ストーンセラピー、アーユルヴェーダー）		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロボディⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロボディⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ 理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエース化粧品セット			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論ⅠーB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	林 麻予			実務経験	○
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして23年勤務をした実務経験を基に、エステティックに関する応用知識・技術について教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	自己紹介・前期授業内容の説明、履修目標について解説 ボディ用化粧品ガイダンス・2年より導入の化粧品の導入（目的、効果、成分、使用法等） 1年次の復習（ボディチェック+マッサージ）
2	ボディ分析 コンサルテーションシートの記入	ボディチェック・運動生理学・姿勢・ポジショニング・採寸 AEAコンサルテーションシートの記入方法について
3	ボディ電気機器 交流電流	低周波 口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
4		
5		
6	ボディ電気機器 サクション	サクション 口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
7		
8	AEA上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習 成績評価① 模擬試験
9		
10		
11	ボディ電気機器 G5	G5 口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
12		
13	ボディ機器総合	ボディ機器 総合復習
14		ボディ機器 総合復習 成績評価② 機器総合
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	プロボディⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロボディⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		2 60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエース化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60％/小テスト20％/授業態度・提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論Ⅱ－B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	林 麻予		実務経験	○	
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして2～3年勤務をした実務経験を基に、脱毛やカウンセリングについて教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	オリエンテーション 脱毛理論		脱毛理論/体毛について毛髪学/成分/ワックス脱毛の目的と効果/成分/注意事項・禁忌事項 デモンストレーション		
2	脱毛 Wax (Warm)		ワックス実技演習（腕・足） 成績評価① 脱毛試験		
3					
4					
5	アフターカウンセリング		カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説		
6	ボディテクニック総合 クライアント実習		カウンセリングシートの記入法・お通し カウンセリング・採寸・機器選択 ボディマッサージ アフターカウンセリング … 一連の流れで練習 wax脱毛 ※体質別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。		
7					
8					
9					
10	AJESTE上級 エステティシャン 試験対策		【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習 脱毛含む 成績評価② 模擬試験		
11					
12					
13					
14	ボディテクニック総合		ボディテクニック総合 復習		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	プロフェイシャルⅡ-B		
必修選択	選択	(学則表記)	プロフェイシャルⅡ-B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		4 90
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエース化粧品セット			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会
科目の基礎情報②					
授業のねらい	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得する。 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60％/小テスト20％/授業態度・提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する ・6コマを3コマずつに分けてカリキュラムを週2回実施				
担当教員	岡崎 由佳			実務経験	○
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして20年勤務をした実務経験を基に、AEA上級認定エステティシャンの試験合格に向けて教授をする				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	オリエンテーション 1年次復習		自己紹介・前期授業の説明、履修目標について解説 1年次振り返り 接客の基礎実践 ディープクレンジング復習		
2	フェイシャル化粧品ガイダンス マスク（肌別・形状別）		2年より導入のフェイシャル化粧品の導入 （目的、効果、成分、使用法等）		
3	AEA上級 エステティシャン 試験対策		【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習		
4					
5					
6	AEA模擬試験		成績評価①		
7	フェイシャル電気機器 直流電流		イオントフォレーゼ・デイスインクラスステーション 実技理論・デモンストレーション含む ※連動教科 （総論→電気学 ポディーガルバニク）		
8					
9	フェイシャル電気機器 サクション		バター 実技理論・デモンストレーション含む ※連動教科 （総論→解剖生理学 ポディーサクション）		
10					
11	フェイシャル電気機器 高周波		高周波（直接法・間接法・閃光法） 実技理論・デモンストレーション含む		
12					
13	フェイシャル総合授業		成績評価②		
14	オリジナルマッサージ スウェディッシュマッサージ練習		オリジナルマッサージ デモンストレーション・実践		
15	総合授業		総合授業を行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	プロフェイシャルⅢ- B		
必修選択	選択	(学則表記)	プロフェイシャルⅢ- B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		4 90
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ 理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエース化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論Ⅱ－B				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する ・6コマを3コマずつに分けてカリキュラムを週2回実施				
担当教員	岡崎 由佳		実務経験		○
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして20年勤務をした実務経験を基に、カウンセリング方法・実技を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	肌別・トラブル別の選択 皮膚生理学・香粧品学・機器		【3コマ】カウンセリングシート作成 選択理由・目的・効果 【3コマ】メイク・ネイルいずれかを実施		
2			【3コマ】口答試問対策・解説・禁忌事項・操作方法 【3コマ】メイク・ネイルいずれかを実施		
3	アフターカウンセリング		カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説・小テスト		
4	オリジナルマッサージ スウェデッシュマッサージ練習		オリジナルマッサージ デモンストレーション・実践		
5					
6	AJESTHE上級 エステティシャン 試験対策		【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習		
7					
8					
9	模擬試験		成績評価③		
10	フェイシャルテクニック総合 クライアント実習		クレンジング・カウンセリング（肌分析）		
11			ディープクレンジング・電気トリートメント		
12			マッサージ・マスク・仕上げ・メイク・ネイル		
13			アフターカウンセリング		
14	フェイシャルテクニック総合		フェイシャルエステティック総合復習 成績評価④		
15	総合授業		総まとめ授業を行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	エステティック総論Ⅰ - B		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論Ⅰ - B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		2 30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ - Ⅲ／AEAテキスト（各項目）		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ。				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	筆記試験60％/小テスト・ケースワーク20％/授業態度、提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	プロフェイシャルⅡ・プロフェイシャルⅡ・サロントリートメント・サロンワーク・エステティックカウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	岡崎 由佳		実務経験	○	
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして23年勤務をした実務経験を基に、身体の細胞から考えたスキンケアの対応を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	オリエンテーション 救急法		・救急法の基礎知識・一次救命処置・主な症状の救急手当・主な事故の手当て		
2	電気理論		・電気が生じるしくみ ・化学結合の種類 ・電気の基礎知識		
3	人体と電気 エステティック機器の種類と原理		・体の中の電気のしくみ ・エステティックにおける生体電気の利用		
4	皮膚の構造・生理機能		皮膚の構造と生理機能		
5	トラブル肌と皮膚疾患		・接触性皮膚炎・アレルギー性疾患		
6	トラブル肌と皮膚疾患 筆記試験		・アトピー性皮膚炎 ・その他の主な皮膚疾患 成績評価①		
7	人体のあらまし細胞・組織・器官		・人体のあらまし ・人体の成り立ち		
8					
9	人体の器官系感覚器系・消化器系		感覚器（感覚器のあらまし・各感覚器の構造と働き） 消化器系（消化器系のあらまし・各消化器官のの構造と働き）		
10					
11	化粧品と薬機法 化粧品の品質と品質特性		・化粧品と医薬品医療機器等法 ・化粧品の品質と品質特性 ・化粧品の分類と特徴		
12	AEA上級認定E 演習問題		AEA問題集の解説を行いながら検定対策をする		
13					
14	筆記試験		模擬試験 成績評価②		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	エステティック総論Ⅱ - B		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論Ⅱ - B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		2 30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ－Ⅲ／AEAテキスト（各項目）		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	筆記試験60％/小テスト・ケースワーク20％/授業態度、提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	プロフェイシャルⅡ・プロフェイシャルⅡ・サロントリートメント・サロンワーク・エステティックカウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	岡崎 由佳		実務経験		○
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして23年勤務をした実務経験を元に、AEA上級認定エステティシャンの試験合格に向けて教授をする				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	前期の振り返り		前期の振り返り		
2	脱毛学 ※プロボディⅡにて実技導入		・毛髪学概論・毛と毛包の構造		
3			・発毛のしくみと毛周期 ・美容脱毛技術者として知っておきたい病気		
4	認定上級E筆記対策 1年・2年次の不足の補填		検定対策テキストの内容を実施・小テスト		
5					
6					
7					
8					
9	筆記試験		成績評価③ AJESTHE上級 模試		
10	認定上級E 実技対策		AJESTHE上級試験範囲 コンサルテーション 口頭試験 実技試験対策 成績評価④ ケースワーク		
11					
12					
13					
14					
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	検定対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		4 60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる。				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、付け爪技術のスカulptureやジェルネイルの知識・技術をマスターし、ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得				
評価基準	検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ・検定対策Ⅱ／Ⅲ・検定対策&スカulptureⅠ／Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	原田 実保		実務経験	○	
実務内容	都内ネイルサロンに日本ネイリスト協会常任本部認定講師として25年勤務し、ネイリスト検定の資格を取得するための知識・技術を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	導入 1年次の復習		1年間の授業の流れ 1年次のジェルネイルの復習		
2	JNEC 2級検定の振り返り ジェル中級対策①		JNEC 2級の振り返り ジェル中級に向けて実技練習		
3	ジェル中級対策②		ジェル中級に向けて実技練習		
4	ジェル中級対策③		ジェル中級に向けて実技練習		
5	ジェル中級対策④		ジェル中級に向けて実技練習		
6	ジェル中級対策⑤		ジェル中級に向けて実技練習		
7	JNEC 1級対策① または ジェル中級対策⑥		JNEC 1級検定のセッティング及び流れを覚える		
8	JNEC 1級対策②		JNEC 1級検定のセッティング及び流れを覚える		
9	JNEC 1級筆記模擬試験・対策		1級試験 筆記試験対策		
10	JNEC 1級対策③		JNEC 1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル		
11	JNEC 1級対策④		JNEC 1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル		
12	JNEC 1級対策⑤		JNEC 1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル		
13	実技テスト		実技テスト		
14	筆記テスト 実技対策		筆記テスト 実技対策		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	検定対策Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式			出版社	NPO法人日本ネイリスト協会
科目の基礎情報②					
授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる。				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、 ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得				
評価基準	検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ ・検定対策Ⅱ／Ⅲ・検定対策&スカルプチュアⅠ／Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	原田 実保			実務経験	○
実務内容	都内ネイルサロンに日本ネイリスト協会常任本部認定講師として25年勤務し、ネイリスト検定の資格を取得するための知識・技術を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	JNEC1級対策①		JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル		
2	JNEC1級対策②		JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル		
3	ジェル上級対策①		ジェル上級検定について 説明と実技練習		
4	ジェル上級対策②		ジェル上級に向けて実技練習		
5	ジェル上級対策③		ジェル上級に向けて実技練習		
6	ジェル上級対策④		ジェル上級に向けて実技練習		
7	ジェル上級対策⑤		ジェル上級に向けて実技練習		
8	ジェル上級対策⑥		ジェル上級に向けて実技練習		
9	ジェル上級対策⑦		ジェル上級に向けて実技練習		
10	ジェル上級対策⑧		ジェル上級に向けて実技練習		
11	ジェル上級対策⑨		ジェル上級に向けて実技練習		
12	実技練習		振り返りの実施		
13	実技テスト		実技テスト		
14	筆記テスト 実技練習		筆記テスト 実技練習		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	検定対策＆スカルプチュアⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策＆スカルプチュアⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、 サロンで通用するスカルプチュア技術の習得する。				
到達目標	付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、 ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得と共にネイリストとしてサロンで通用する技術レベルへの習得				
評価基準	検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ／Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	原田 実保		実務経験		○
実務内容	都内ネイルサロンに日本ネイリスト協会常任本部認定講師として25年勤務し、ネイリスト検定の資格を取得するための知識・技術を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	導入 1年次の復習 1級実技説明		1年間の授業の流れ 1年次及びJNEC 2級の復習をしJNEC1級に向けて実技練習		
2	JNEC 1級対策①		1級検定のセッティング及び流れを覚える		
3	JNEC 1級対策②		1級検定のセッティング及び流れを覚える		
4	JNEC 1級対策③		1級検定のセッティング及び流れを完全にマスターする		
5	JNEC 1級対策④		1級検定のセッティング及び流れを完全にマスターする		
6	JNEC 1級対策⑤		JNEC 1級検定に向けての実技練習		
7	JNEC 1級対策⑥		JNEC 1級検定に向けての実技練習		
8	JNEC 1級対策⑦ 筆記テスト		JNEC 1級検定に向けての実技練習 筆記テスト		
9	JNEC 1級対策⑧		JNEC 1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル		
10	JNEC 1級対策⑨		JNEC 1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル		
11	JNEC 1級対策⑩		JNEC 1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル		
12	JNEC 1級対策⑪		JNEC 1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル		
13	実技テスト		実技テスト		
14	実技テスト		実技テスト		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	検定対策＆スカルプチュアⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策＆スカルプチュアⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、 サロンで通用するスカルプチュア技術の習得する				
到達目標	付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、 ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得と共にネイリストとしてサロンで通用する技術レベルへの習得				
評価基準	検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ／Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	原田 実保		実務経験	○	
実務内容	都内ネイルサロンに日本ネイリスト協会常任本部認定講師として25年勤務し、ネイリスト検定の資格を取得するための知識・技術を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	JNEC 1 級検定内容確認 (筆記・実技)		1 級検定について注意事項説明・筆記対策と実技練習		
2	JNEC 1 級対策①		JNEC 1 級検定に向けての実技練習 タイムトライアル		
3	JNEC 1 級対策②		JNEC 1 級検定に向けての実技練習 タイムトライアル		
4	スカルプチュア①		クリアスカルプチュア 実技10本		
5	スカルプチュア②		グラデーションスカルプチュア 実技10本		
6	スカルプチュア③		グラデーションスカルプチュア 実技10本		
7	スカルプチュア④		フレンチスカルプチュア デモ・実技		
8	スカルプチュア⑤		フレンチスカルプチュア 実技		
9	スカルプチュア⑥		フレンチスカルプチュア 実技 バーチャルフレンチスカルプチュア デモ		
10	スカルプチュア⑦		スピードスカルプチュア 相モデルで1 0 本 ナチュラル使用		
11	スカルプチュア⑧		スピードスカルプチュア 相モデルで1 0 本 ナチュラル使用		
12	スカルプチュア⑨		ジェルを載せるときのサロンでの長さだしの練習		
13	筆記試験 実技試験		筆記試験 実技試験		
14	実技試験		実技試験		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ジェルネイルⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ジェルネイルⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		2 60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる。				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、ジェルネイルの知識・技術をマスターし、 ジェル検定上級まで取得				
評価基準	検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ／Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	戀水 真弓		実務経験	○	
実務内容	都内ネイルサロンや開業した自宅サロンで日本ネイリスト協会本部認定講師ネイリストとして15年勤務をした実務経験を基に、検定やジェルネイルの知識・技術を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	導入・教材確認 ジェルデザイン実技①		教材説明・グラデーション・フレンチのデザインを学ぶ		
2	ジェルデザイン実技②		シールを埋めるやり方・ラインテープの貼り方・タテグラデ・逆フレンチなど様々なデザインを学ぶ		
3	スカルプ(クリア)デモ・実技		ジェルスカルプ(クリア)デモ・実技		
4	マシーンオフ・プレバ		マシーンオフとプレパレーション実技		
5	マシーンオフ＋フィルイン＋フィルインベースのせ		マシーンオフ＋フィルイン＋フィルインベースのせ実技		
6	中級検定実技①		中級検定内容を学び技術をマスターする		
7	中級検定実技②		中級検定内容を学び技術をマスターする		
8	中級検定実技③		中級検定内容を学び技術をマスターする		
9	ジェル上級説明、チップオーバーレイデモ実技		上級検定へ向けてジェルチップオーバーレイデモ実技(ナチュラル・フレンチ)を学ぶ		
10	ジェルチップオーバーレイ実技		上級検定へ向けてジェルチップオーバーレイデモ実技(ナチュラル・フレンチ)を学ぶ		
11	ジェルアート実技①		上級検定のフラワーのジェルアートの技術をマスターする		
12	ジェルアート実技②		上級検定のフラワーのジェルアートの技術をマスターする		
13	実技テスト		実技テスト		
14	筆記テスト 実技練習		筆記テスト・実技練習		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ジェルネイルⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ジェルネイルⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		2 60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる。				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、ジェルネイルの知識・技術をマスターし、 ジェル検定上級まで取得				
評価基準	検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ／Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	戀水 真弓		実務経験	○	
実務内容	都内ネイルサロンや開業した自宅サロンで日本ネイリスト協会本部認定講師ネイリストとして15年勤務をした実務経験を基に、検定やジェルネイルの知識・技術を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	ジェルスカルプ実技		クリア・フレンチのジェルスカルプ実技		
2	ジェルスカルプ・チップオーバーレイ実技		クリア・フレンチのジェルスカルプとジェルチップオーバーレイ実技		
3	ジェルスカルプ実技(相モデル)		ジェルスカルプ実技(相モデル)		
4	上級検定実技①		ジェルネイル検定上級実技		
5	上級検定実技②		ジェルネイル検定上級実技		
6	上級検定実技③		ジェルネイル検定上級実技タイムトライアル		
7	上級検定実技④		ジェルネイル検定上級実技タイムトライアル		
8	デザインジェル・実技①		流行のデザインなどの研究も含めて様々なデザインのジェルネイルの実技		
9	デザインジェル・実技②		流行のデザインなどの研究も含めて様々なデザインのジェルネイルの実技		
10	デザインジェル・実技 ジェルフィルイン①		様々なデザインのジェルネイルの実技、ジェルフィルイン実技		
11	デザインジェル・実技 ジェルフィルイン②		様々なデザインのジェルネイルの実技、ジェルフィルイン実技		
12	ジェル実技(10本)相モデル①		サロンワークを意識して長さ出しやデザインなどのテーマを決めて施術を行う		
13	ジェル実技(10本)相モデル② 筆記テスト		サロンワークを意識して長さ出しやデザインなどのテーマを決めて施術を行う		
14	後期実技試験 (上級検定内容)		総復習として実技試験を行なう		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	コンテストⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		1 30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる。				
到達目標	コンテスト入賞				
評価基準	授業態度20％・実技テスト80％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	戀水 真弓		実務経験		○
実務内容	都内ネイルサロンや開業した自宅サロンで日本ネイリスト協会本部認定講師ネイリストとして15年勤務をした実務経験を基に、ネイルコンテスト入賞に必要な技術を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	コンテスト予定確認 モデル選びについて		今後のコンテスト予定を確認し目標を立てさせ技術向上を意識付けする モデル選びの重要性、サロンワークや検定とのコンテストの違いを理解する		
2	ケア・カラー①		ジュニア・スチューデントケアの練習		
3	ケア・カラー②		ジュニア・スチューデントケアの練習		
4	ケア・カラー③		ジュニア・スチューデントケアの練習		
5	ケア・カラー④ 実技テスト		ジュニア・スチューデントケア 実技テスト		
6	アート①		チップ作成によるアート		
7	アート②		チップ作成によるアート		
8	アート④		チップ作成によるアート		
9	アート④ 作品提出		チップ作成によるアート 作品提出		
10	スカルプチュア①		ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習		
11	スカルプチュア②		ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習		
12	スカルプチュア③		ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習		
13	スカルプチュア④		ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習		
14	スカルプチュア④ 実技テスト		ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ 実技テスト		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	コンテストⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		1 30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる。				
到達目標	コンテスト入賞				
評価基準	授業態度20％・実技テスト80％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	戀水 真弓		実務経験		○
実務内容	都内ネイルサロンや開業した自宅サロンで日本ネイリスト協会本部認定講師ネイリストとして15年勤務をした実務経験を基に、ネイルコンテスト入賞に必要な技術を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	ケア・カラー①		スチューデントケアの練習と共にプロケアとしてフレンチカラーの実技		
2	ケア・カラー②		スチューデントケアの練習と共にプロケアとしてフレンチカラーの実技		
3	ケア・カラー③ 実技テスト		スチューデントケアの練習と共にプロケアとしてフレンチカラーの実技テスト		
4	ジェル①		ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成		
5	ジェル②		ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成		
6	ジェル③		ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成		
7	ジェル④ 実技テスト		ジェル部門実技テスト、または作品提出		
8	アート①		チップ作成またはデザインイクステンションなどコンテスト内容に順じたアート実技		
9	アート②		チップ作成またはデザインイクステンションなどコンテスト内容に順じたアート実技		
10	アート③ 作品提出		アート部門実技作品提出		
11	スカルプチュア①		プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習		
12	スカルプチュア②		プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習		
13	スカルプチュア③		プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習		
14	スカルプチュア④ 実技テスト		プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ネイルケアⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケアⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		2 45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	トリートメント・フットやマシン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、 更なる技術向上を目指し実践する。				
到達目標	短い施術時間内で無駄の無い正確な技術を行うことができる。				
評価基準	授業態度他20％・筆記テスト40％・実技テスト40％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	遠藤　しのぶ		実務経験	○	
実務内容	都内やカナダのネイルサロンで日本ネイリスト協会本部認定講師ネイリストとして15年勤務をした実務経験を基に、 手や足のケア技術を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	1年次復習		これまでの振り返りと2級検定振り返り		
2	ハンドケア トリートメント理論		マシンを使用してのケア方法とトリートメントについて学ぶ		
3	フットケア①		メタルプッシャーを使用した、トリートメント、カラー		
4	フットケア②		メタルプッシャーを使用した、トリートメント、カラー		
5	フットケア③		ネイルマシンを使用した、トリートメント、カラー		
6	フットケア④		ネイルマシンを使用した、トリートメント、カラー		
7	ハンドケア⑤		ネイルマシンを使用した、トリートメント、カラー		
8	ハンドケア⑥		ネイルマシンを使用した、トリートメント、カラー		
9	ケア、カラー		ラウンドの練習　色々なカラーリングの練習		
10	ハンドケア（マシン） カラー①		ネイルマシンを使用したケアと色々なカラーリングの練習。アート練習。		
11	ハンドケア（マシン） カラー②		ネイルマシンを使用したケアと色々なカラーリングの練習。アート練習。		
12	実技テスト		実技テスト　ハンドケア・マシン		
13	実技テスト		実技テスト　ハンドケア・マシン		
14	筆記テスト		筆記テスト　ケア・カラー		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ネイルケアⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケアⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		2 45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	トリートメント・フットやマシン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、 更なる技術向上を目指し実践する。				
到達目標	短い施術時間内で無駄の無い正確な技術を行うことができる。				
評価基準	授業態度他20％・筆記テスト40％・実技テスト40％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	遠藤　しのぶ		実務経験	○	
実務内容	都内やカナダのネイルサロンで日本ネイリスト協会本部認定講師ネイリストとして15年勤務をした実務経験を基に、 手や足のケア技術を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	ケア、カラー①		マシンでのケアと色々なカラーを練習　様々なカットスタイルにも対応できるように学ぶ		
2	ケア、カラー②		マシンでのケアと色々なカラーを練習　様々なカットスタイルにも対応できるように学ぶ		
3	ケア、カラー③		マシンでのケアと色々なカラーを練習　様々なカットスタイルにも対応できるように学ぶ		
4	フットケア・トリートメント・ジェル①		ジェルを取り入れたフットケア（メタルプッシャー）を学ぶ		
5	フットケア・トリートメント・ジェル②		ジェルを取り入れたフットケア（メタルプッシャー）を学ぶ		
6	フットケア（マシン） トリートメント・ジェル①		ジェルを取り入れたフットケア（ネイルマシン）を学ぶ		
7	フットケア（マシン） トリートメント・ジェル②		ジェルを取り入れたフットケア（ネイルマシン）を学ぶ		
8	フットケア（マシン） トリートメント・ジェル③		ジェルを取り入れたフットケア（ネイルマシン）を学ぶ		
9	フットケア（マシン） トリートメント・ジェル④		ジェルを取り入れたフットケア（ネイルマシン）を学ぶ		
10	フットケア（マシン） マシンオフ①		ネイルマシンを使用したフットジェルのマシンオフ		
11	フットケア（マシン） マシンオフ②		ネイルマシンを使用したフットジェルのマシンオフ		
12	実技試験①		実技試験　フットケア・トリートメント・ジェル		
13	実技試験②		実技試験　フットケア・トリートメント・ジェル		
14	筆記テスト		筆記テスト　ハンドケア(マシン)・トリートメント・カラー		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ネイルアートⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルアートⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		2 45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ポリッシュアートなどのフラットアートから３Ｄアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する。				
到達目標	様々なデザインを考案し、お客様のどのような要望にもお答えでき、提供できる。				
評価基準	作品提出90％・授業態度他10％				
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	原田 実保		実務経験	○	
実務内容	都内ネイルサロンに日本ネイリスト協会常任本部認定講師として25年勤務し、ポリッシュアートなどのフラットアートから３Ｄアートに至るまでのネイルアート教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	導入 作品紹介 2級検定実技		1年間の授業の流れ作品紹介 コンテスト作品を仕上げるコツ等を学ぶ 2級アート実技練習		
2	エンボスアート基礎		エンボスアート基礎 ミクスチュアの取り方、ハートなど		
3	エンボスアート①		エンボスの基本的な花やモチーフの実技		
4	エンボスアート②		エンボスの基本的な花やモチーフの実技		
5	３Ｄアート基礎		３Ｄの基本的な花やモチーフの実技		
6	３Ｄアート応用		３Ｄアート応用の花やモチーフの実技		
7	３Ｄアート（検定用）		検定用３Ｄアートに実技		
8	エアーブラシ基礎		ライン・ドット等シート練習 組立・掃除等のメンテナンスを覚える		
9	エアーブラシ応用①		ライン・ドット・ステンシルなどを使用したシート練習		
10	エアーブラシ応用②		ライン・ドット・ステンシルなどを使用したシート練習		
11	ミックスメディアアート①		フラット・エンボス・３Ｄの技法を取り入れたアート作品を作る		
12	ミックスメディアアート②		フラット・エンボス・３Ｄの技法を取り入れたアート作品を作る 作品提出		
13	検定用アート①		1級検定アートのタイムトライアル		
14	検定用アート②		1級検定アートのタイムトライアル 作品提出		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ネイルアートⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルアートⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		2 45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式			出版社	NPO法人日本ネイリスト協会
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ポリッシュアートなどのフラットアートから3 Dアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する。				
到達目標	様々なデザインを考案し、お客様のどのような要望にもお答え出来、提供できる。				
評価基準	作品提出90％・授業態度他10％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	原田 実保			実務経験	○
実務内容	都内ネイルサロンに日本ネイリスト協会常任本部認定講師として25年勤務し、ポリッシュアートなどのフラットアートから3 Dアートに至るまでのネイルアート教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	検定用アート①		1級検定アートの実技		
2	検定用アート③ タイムトライアル		1級検定アートのタイムトライアル		
3	検定用アート② タイムトライアル		1級検定アートのタイムトライアル 作品提出		
4	デザインスカルプチュア① デモ・実技		デザインスカルプチュアを学び習得する		
5	デザインスカルプチュア②		デザインスカルプチュアを学び習得する		
6	トレンドアート①		トレンドのネイルアートの技術を学ぶ		
7	トレンドアート②		トレンドのネイルアートの技術を学ぶ		
8	作品制作①		テーマと技法(エアール・フラットなど)を決めて作品を制作する		
9	作品制作②		テーマと技法(エアール・フラットなど)を決めて作品を制作する 作品提出		
10	タイムトライアル		サロンワークに対応するアートのタイムトライアル		
11	卒業制作①		2年間の総復習		
12	卒業制作②		2年間の総復習		
13	卒業制作③		2年間の総復習		
14	卒業制作④		2年間の総復習 作品提出		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	サロンワークⅠーG		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅠーG		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		1 30
使用教材	ケースで学ぶ理美容業の接客マナー（教員用のみ） 関連科目の使用教材一式		出版社	早稲田教育出版 他	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	①マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う力、現場力を身につける。 ②「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①現場実践を積み、接客力を身に付けて実践することができる。 ②日ごろの授業のアウトプットとして人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	テスト・小テスト：60％ 授業態度：10％ 提出物：20％ レポート：10％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	エステティックカウンセリングⅢ、アロマテラピー総論Ⅱ、フェイシャル&ボディⅡ ネイルケア&ネイルアートⅡ、パーソナルヘア&メイクⅡ、ヨガ・ピラティスⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	柴崎 琴実		実務経験	○	
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして6年勤務をした実務経験を基に、サロン運営・施術をシミュレーションを行いながら教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	サロンワーク導入				
2	1年次復習				
3	サロンワーク技術練習				
4	サロンワーク技術練習				
5	サロンワーク技術練習				
6	サロンワーク技術練習				
7	サロンワーク技術練習				
8	サロンワーク技術練習				
9	サロンワーク技術練習				
10	サロンワーク技術練習				
11	サロンワーク技術練習				
12	サロンワーク技術練習・テスト				
13	サロンワーク技術練習				
14	振り返り				
15	総合授業	総まとめを行う			

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅡ－G		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅡ－G		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ケースで学ぶ理美容業の接客マナー（教員用のみ） 関連科目の使用教材一式			出版社	早稲田教育出版 他

科目の基礎情報②

授業のねらい	①マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う力、現場力を身につける。 ②「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①現場実践を積み、接客力を身に付けて実践することができる。 ②日ごろの授業のアウトプットとして人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	テスト・小テスト：60％ 授業態度：10％ 提出物：20％ レポート：10％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	エステティックカウンセリングⅢ、アロマテラピー総論Ⅱ、フェイシャル&ボディⅡ ネイルケア&ネイルアートⅡ、パーソナルヘア&メイクⅡ、ヨガ・ピラティスⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	柴崎 琴実			実務経験	○
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして6年勤務をした実務経験を基に、サロン運営・施術をシミュレーションを行いながら教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク技術練習	- 様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする - 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ - 施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ
2	サロンワーク技術練習	
3	サロンワーク技術練習	
4	サロンワーク技術練習	
5	サロンワーク技術練習	
6	サロンワーク技術練習	
7	サロンワーク技術練習	
8	サロンワーク技術練習	
9	サロンワーク技術練習	
10	サロンワーク技術練習	
11	サロンワーク技術練習	
12	サロンワーク技術練習・テスト	
13	サロンワーク技術練習	
14	振り返り	
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅡ - G		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅡ - G		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ～Ⅲ ナチュラルビューティースタylist検定 公式テキスト		出版社	日本エステティック協会 アロマ環境協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	植物の力に関する知識を持ち、ライフスタイルの様々な場面に活用することでカラダの内側からも外側からも美しく健康になるための知識を学ぶ。				
到達目標	ナチュラルビューティースタylist検定合格レベル(任意)				
評価基準	筆記試験60％・小テスト20％・授業態度、提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	ナチュラルビューティースタylist検定(任意)				
関連科目	フェイシャル＆ボディⅡ・アロマセラピー総論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	石塚 順子		実務経験	○	
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして30年勤務をした実務経験を基に、カウンセリング業務に関する授業を展開する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	1年振り返り		1年振り返り		
2	ナチュラルビューティーに生きる		植物の力のひみつ・自分の心と体を知る・あなたのタイプをチェック		
3	カラダの仕組みを知る 1		ストレスとは・ホメオスタシスとは・内分泌系の役割		
4	カラダの仕組みを知る 2		ライフステージ別カラダの変化・免疫系		
5	カラダの内側から整える Lesson1 カラダをつくる食事		カラダをつくる食事		
バランスのいい食事とは・旬の食材はなぜカラダにいいのか					
腸を整えよう					
カラダをあたためよう・腸活と温活					
9	カラダの内側から整える Lesson1 カラダをつくる食事		食事とアンチエイジング		
オイルとエイジングケア・レシピ紹介					
テスト 成績評価①					
睡眠の役割・睡眠のメカニズム					
14	Lesson2 カラダを休める睡眠		質のよい睡眠の条件 成績評価②		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅢ - G		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅢ - G		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ－Ⅲ ナチュラルビューティースタylist検定 公式テキスト		出版社	日本エステティック協会 アロマ環境協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	植物の力に関する知識を持ち、ライフスタイルの様々な場面に活用することでカラダの内側からも外側からも美しく健康になるための知識を学ぶ。				
到達目標	ナチュラルビューティースタylist検定合格レベル(任意)				
評価基準	筆記試験60％・小テスト20％・授業態度、提出物など20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	ナチュラルビューティースタylist検定(任意)				
関連科目	フェイシャル&ボディⅡ・アロマセラピー総論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	石塚 順子		実務経験	○	
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして30年勤務をした実務経験を元に、身体の内側・外側からの効果を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	カラダの内側から整える		カラダを動かすことのメリット・カラダの循環を知る		
2	Lesson3 カラダを巡らせる運動		運動実践(朝のストレッチ・夜のストレッチ・筋肉トレーニング)		
3	カラダの内側から整える Lesson4 ココロの疲れをリセット		ココロの疲れとは？ストレスと上手に付き合うには		
4	カラダの外側から整える Lesson1 正しいスキンケアで美肌をつくる		ココロとカラダの状態が現れる肌(乾燥・紫外線・酸化糖化)		
5			肌トラブル別お手入れ方法(ニキビ・しわたるみ・くすみ・クマ・毛穴)		
6					
7			美しいカラダを保つためのボディケア		
8			スキンケアのための植物・ナチュラルコスメを使ってみよう		
9	総合まとめ		成績評価①		
10	カラダの外側から整える		美しく健康な髪・髪と頭皮のメカニズム・健康な髪をつくる生活習慣		
11	Lesson2 ヘアケアで美しい髪				
12	毎日の心がけで ナチュラルビューティー		Lesson1 正しい呼吸法 理論・実践		
13			Lesson2 五感に心地よいライフスタイル		
14	総合まとめ		ナチュラルビューティースタylist検定 模試 成績評価②		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	アロマセラピーⅡ・G		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマセラピーⅡ・G		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		1 15
使用教材	アロマセラピー検定公式テキスト 1級 ナチュラルビューティースタylist検定 公式テキスト		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	アロマセラピー検定対策 アロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習と生活への応用				
到達目標	アロマセラピーにを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる。 アロマセラピー検定1級合格レベル				
評価基準	筆記試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	アロマセラピー検定1級				
関連科目	フェイシャル&ボディⅡ・サロンワーク・エステティックカウンセリングⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	石塚 順子		実務経験		○
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして30年勤務をした実務経験を基に、精油の基礎知識・生成方法を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	1年の振り返り		振り返り		
2	検定対策 第1章～2章 総まとめ		1年時の総復習 ・精油のプロフィール（サイプレス・ジャーマンカモミール）		
3	検定対策 第3章～4章 総まとめ		1年時の総復習 ・精油のプロフィール（ジャスミン・パチュリ）		
4	検定対策 第5章～6章 総まとめ		1年時の総復習 ・精油のプロフィール（ブラックペッパー・ペチパー）		
5	検定対策 第7～8章 総まとめ		1年時の総復習 ・精油のプロフィール（ベンゾイン・ミルラ）		
6	検定対策 第7～8章 総まとめ		1年時の総復習 ・精油のプロフィール（メリッサ・ローズオットー）		
7	総合まとめ		成績評価① アロマ検定プレテスト		
8	精油紹介①		トリートメント用 ブレンドオイル作り		
9	精油紹介②		シアバタークリーム作り(バーム)		
10					
11	精油紹介③		ハンガリアンウォーター・化粧水作り(もしくはクレイパック)		
12					
13	精油紹介④・総合まとめ		手作りせっけん・石けん素地・成績評価②		
14					
15	総合授業		総合授業を行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	アロマセラピーⅢ - G		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマセラピーⅢ - G		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		1 15
使用教材	アロマセラピー検定公式テキスト 1級 ナチュラルビューティースタ일리スト検定 公式テキスト		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	アロマセラピー検定対策 アロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習と生活への応用				
到達目標	アロマセラピーを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる。 アロマセラピー検定1級合格レベル				
評価基準	筆記試験60%/小テスト10%/授業態度、提出物など10%/アロマ検定 1 級合否20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	アロマセラピー検定1級				
関連科目	フェイシャル＆ボディⅡ・サロンワーク・エステティックカウンセリングⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	石塚 順子		実務経験		○
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして30年勤務をした実務経験を元に、アロマセラピー検定試験合格に必要な知識を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	精油紹介⑤		オリエンテーション 練香水作り		
練香水作り					
3	アロマ1級試験復習 模擬試験		成績評価①		
4	ナチュラルビューティーに関わる植物		覚えておきたい植物の有効成分 植物(アサイー・ウコン・温州みかん)		
5			植物(エルダーフラワー・甘草・クコ)		
6			植物(クローブ・月桃・ごぼう)		
7			植物(サフラン・しょうが・すぎな)		
8			植物(セージ・タイム・チャ)		
9	ナチュラルビューティーに関わる植物		植物(朝鮮人参・月見草・ナツメグ)		
10			植物(ペパーミント・ホーリーバジル・ゆず)		
11			植物(よもぎ・レモンバーベナ・ローズヒップ)		
12			総合復習		
13	筆記試験		植物図鑑より 小テスト		
14	模擬試験		模擬試験 成績評価②		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	フェイシャル&ボディⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャル&ボディⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		3 60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・クリエース化粧品セット タオル類・消耗品類・筆記用具・ボディ化粧品		出版社	日本エステティック協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。				
到達目標	技術力確認試験 合格レベル				
評価基準	実技試60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	日本エステティック協会 認定フェイシャルエステティシャン・認定ボディエステティシャン				
関連科目	カウンセリングⅢ・G、サロンワークⅡーG、エステティックカウンセリングⅡーG、エステティックカウンセリングⅢーG、アロマテラピーⅡーG、ⅢーG フェイシャル&ボディⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	岡崎 由佳		実務経験	○	
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして20年勤務をした実務経験を基に、エステティックの技術を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	フェイシャル&ボディⅡ オリエンテーション		フェイシャルエステティック 化粧品使用方法と説明		
2	フェイシャル技術理論（皮膚学） カウンセリング		トリートメントの目的・皮膚の構造 カウンセリング・コンサルテーションシートの記入方法		
3	ディープクレンジング復習		粒子あり・なし・酵素 手順復習		
4	ディープクレンジング 吸引		スチーマーの使用方法・キッシング手順 理論含む		
5	クレンジング～キッシング		クレンジング～キッシング～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)		
6	ディープクレンジング ブラシ		ブラシの使用方法 デモ・相モデル 理論含む		
7	クレンジング～ブラシ		クレンジング～ブラシ～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)		
8	総合技術 吸引・ブラシ		成績評価①		
9	ディープクレンジング 電気		イオンクレンジングもしくはディスインクラステーション 理論含む		
10	クレンジング～電気		クレンジング～イオンクレンジング～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)		
11	ディープクレンジング総合 コンサルテーションシート		総合復習 カウンセリングを実施し合ったものを提供		
成績評価② 全体を総合し、肌にあった内容を提供できること					
13	フェイシャルマスク		デモンストレーション・手技・拭き取り		
14	クレンジング～マッサージ～ フェイシャルパック		クレンジング～マッサージ～ フェイシャルパック 通し		
15	総合技術		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	フェイシャル&ボディⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャル&ボディⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		3 60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・クリエース化粧品セット エッセンシャルオイルセット		出版社	日本エステティック協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。				
到達目標	技術力確認試験 合格レベル				
評価基準	実技試60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	日本エステティック協会 認定フェイシャルエステティシャン・認定ボディエステティシャン				
関連科目	カウンセリングⅢーG・フェイシャル&ボディⅠ・アロマセラピー総論Ⅱ・生理学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	岡崎 由佳		実務経験	○	
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして20年勤務をした実務経験を基に、エステティック技術向上のために身体の部位に沿ったマッサージの施術を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	ボディ技術理論（生理解剖学） カウンセリング		トリートメントの目的・人体の構造 カウンセリング・コンサルテーションシートの記入方法		
2	マッサージ復習 コンサルテーションシート		下肢後面・腰背部・腹部 手順確認・拭き取り		
3			復習		
4	下肢前面		デモスト・手技・拭き取り		
5			相モデル練習		
6			成績評価①		
7	上肢・デkolテ～頭部		上肢・デkolテ・頭部・頭部 デモスト・手技・拭き取り		
8			通し練習		
9	アロマセラピーのある暮らし精油のプロ フィール		香りのイメージ 安全の為の注意／イランイラン		
10	アロマトリートメント(全身)		精油とは/精油のもととなる植物の芳香物質/精油製造方法 オレンジ・スイート、ジュンパーベリー		
11			芳香浴法・沐浴法・吸入法/精油が心身に作用する経路 ゼラニウム、ティートリー		
12			全身通し練習 アロマを相モデルの悩みに合わせてブレンドする		
13			全身通し練習 アロマを相モデルの悩みに合わせてブレンドする		
14			成績評価②		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ネイルケア&ネイルアートⅠ - G		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケア&ネイルアートⅠ - G		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、 ＪＮＥＣ２級検定取得を目指し、サロンで接客のできるアートなども含めて技術を習得する。				
到達目標	基礎技術に加えてＪＮＥＣ２級取得レベルとサロンで通用する技術ができる。				
評価基準	前期：授業態度他20％・筆記テスト40％・実技テスト40％ 後期：アート作品30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	検定対策&ジェルⅠ・検定対策&ジェルⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	戀水 真弓		実務経験	○	
実務内容	都内ネイルサロンや開業した自宅サロンで日本ネイリスト協会本部認定講師ネイリストとして15年勤務をした実務経験を基に、基本的なネイル技術からカラー・アートの実技を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	ネイルケア・パラフィン ・ハンドトリートメント		ハンドトリートメントと共にパラフィンパックを学ぶ		
2	ネイルケア・パラフィン ・ハンドトリートメント		ハンドトリートメントと共にパラフィンパックを学ぶ		
3	ネイルケア・カラー・アート		サロンで接客の出来るケア・カラー・アートを習得する		
4	ネイルケア・カラー・アート		サロンで接客の出来るケア・カラー・アートを習得する		
5	2級ケア・アート練習		2級検定合格へ向けてのケア・アートを習得する		
6	チップラップ実技		チップラップ実技		
7	チップラップ実技		チップラップ実技		
8	2級実技タイムトライアル		タイム取りをして検定実技の練習を行う		
9	2級実技タイムトライアル		タイム取りをして検定実技の練習を行う		
10	ペディキュア・ フットトリートメント講義デモ		フットケアを学ぶ		
11	ペディキュア		フットケアを学ぶ		
12	ペディキュア		フットケアを学ぶ		
13	実技試験		実技試験		
14	実技試験 筆記テスト		実技試験 筆記試験		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ネイルケア & ネイルアートⅡ - G		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケア & ネイルアートⅡ - G		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、 J N E C 2級検定取得を目指し、サロンで接客のできるアートなども含めて技術を習得する。				
到達目標	基礎技術に加えて J N E C 2 級取得レベルとサロンで通用する技術ができる。				
評価基準	前期：授業態度他20％・筆記テスト40％・実技テスト40％ 後期：アート作品30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	検定対策&ジェルⅠ・検定対策&ジェルⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	戀水 真弓		実務経験	○	
実務内容	都内ネイルサロンや開業した自宅サロンで日本ネイリスト協会本部認定講師ネイリストとして15年勤務をした実務経験を基に、基本的なネイル技術からカラー・アートの実技を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	前期復習		1年次・2年次前期に学んできた事を復習をする		
2	2級検定練習		2級検定へ向けての総仕上げ練習		
3	2級検定練習		2級検定へ向けての総仕上げ練習		
4	教材の説明エンボスアート		エンボス・3 D アートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ		
5	エンボスアート		エンボス・3 D アートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ		
6	3 D アート		エンボス・3 D アートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ		
7	エンボスアート 3 D アート		エンボス・3 D アートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ		
8	ミックスメディアアート		これまで学んできたアート技術の総復習を行う		
9	ミックスメディアアート		これまで学んできたアート技術の総復習を行う		
10	ミックスメディアアート		これまで学んできたアート技術の総復習を行う		
11	実技試験		実技試験		
12	筆記試験		筆記試験		
13	卒業制作		チップを使用してのアート作品を制作		
14	卒業制作		チップを使用してのアート作品を制作		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	検定対策＆ジェルⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策＆ジェルⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	JNEC2級・ＪＮＡジェル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、 サロンでお客様に説明しながら施術ができる。				
到達目標	ＪＮＡジェル検定初級の合格し、サロンで通用する技術を身につける。				
評価基準	前期：ジェル初級検定結果30％・宿題/授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％ 後期：宿題/授業態度他20％・筆記テスト40％・実技テスト40％				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級				
関連科目	ネイルケア＆ネイルアートⅠ-G・ネイルケア＆ネイルアートⅡ-G				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	遠藤　しのぶ		実務経験	○	
実務内容	都内やカナダのネイルサロンで日本ネイリスト協会本部認定講師ネイリストとして15年勤務をした実務経験を基に、 ジェルネイル検定合格に向けて実技を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	ジェル教材の名称及び説明・ジェルシステム講義・カラーとオフのデモ		教材説明・ジェルシステム講義・UVライト(LED)で硬化するジェルシステムを学ぶ・クリアとカラーの塗布～オフまでデモンストレーション		
2	初級検定説明・デモ		初級検定説明・デモ		
3	クリアカラー実技		ジェルネイルの基本的な技術を学ぶ		
4	ジェル初級検定実技①		初級検定内容を学び・技術を学ぶ		
5	ジェル初級検定実技②		ジェル初級検定実技		
6	ジェル初級検定実技③		ジェル初級検定実技		
7	ジェル初級検定実技④		タイム取りをして検定実技の練習を行う		
8	ジェル初級検定実技⑤		タイム取りをして検定実技の練習を行う		
9	実技テスト①		実技テスト		
10	実技テスト② 筆記テスト		実技テスト　筆記テスト		
11	JNEC 2 級検定実技①		ファイリングやニッパーのハンドリングを改めて見直し、基礎的技術の強化を行う		
12	JNEC 2 級検定実技②		2級検定の実技の練習を繰り返す行う		
13	JNEC 2 級検定実技③		2級検定の実技の練習を繰り返す行う		
14	JNEC 2 級検定実技④		2級検定の実技の練習を繰り返す行う		
15	総合授業		これまでの総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	検定対策＆ジェルⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策＆ジェルⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	JNEC2級・JNAジェル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、 サロンでお客様に説明しながら施術ができる。				
到達目標	JNAジェル検定初級の合格し、サロンで通用する技術を身につける。				
評価基準	前期：ジェル初級検定結果30％・宿題/授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％ 後期：宿題/授業態度他20％・筆記テスト40％・実技テスト40％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級				
関連科目	ネイルケア＆ネイルアートⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	遠藤　しのぶ		実務経験	○	
実務内容	都内やカナダのネイルサロンで日本ネイリスト協会本部認定講師ネイリストとして15年勤務をした実務経験を基に、 ジェルネイル検定合格に向けて実技を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	前期複習		1年次・2年次前期に学んできた事を復習し、練習を繰り返し技術向上を目指す		
2	JNEC 2 級検定実技①		タイム取りをして検定実技の練習を行う		
3	JNEC 2 級検定実技②		タイム取りをして検定実技の練習を行う		
4	筆記テスト JNEC 2 級検定実技③		筆記テスト　タイム取りをして検定実技の練習を行う		
5	JNEC 2 級検定実技④		タイム取りをして検定実技の練習を行う		
6	ジェルネイル①		フレンチ・グラデーションデモ・実技		
7	ジェルネイル②		フレンチ・グラデーション・実技		
8	ジェルネイル③		フレンチ・グラデーション実技		
9	ジェルネイル④		ジェルチップオーバーレイ　ジェルスカ　ジェルオフ　デモ・実技		
10	ジェルネイル⑤		ジェルチップオーバーレイ　ジェルスカ　実技		
11	ジェルネイル⑥		ジェルチップオーバーレイ　ジェルスカ　実技		
12	ジェルネイル⑦		ジェルアート		
13	実技テスト		実技テスト		
14	実技テスト		実技テスト		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	パーソナルヘア＆メイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルヘア＆メイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		1 30
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト		出版社	ユアサポート	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する。 お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する。				
評価基準	テスト50％、提出物30％ 授業意欲等20％				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	トータルメイクⅠ、トータルメイクⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	甲斐切 直美		実務経験		○
実務内容	ブライダルヘアメイクサロンを20年経営し、現在もブライダル、芸能、ヘアメイク、舞台ヘアメイク他、ヘアメイクアップアーティストとして活動。実務経験を元に、特殊メイクに必要な知識・技術を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	オリエンテーション 1年次復習		授業の目的目標、評価基準、授業ルール 1年次復習(ピン・ホットカラーなど)/振り返り		
2	土台の作り方 逆毛の立て方・すき毛の使用		土台(導入・練習) 逆毛・すき毛(導入・練習)		
3	夜会巻①		夜会巻(導入・練習)		
4	夜会巻②		夜会巻(練習)		
5	夜会巻③		本夜会(導入・練習)		
6	夜会巻⑤		重ね夜会・本夜会(テスト・振り返り)		
7	和装・洋装スタイル①		トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成		
8	和装・洋装スタイル②		トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成		
9	和装・洋装スタイル③		トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成		
10	和装・洋装スタイル④		トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成		
11	和装・洋装スタイル⑤		トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成		
12	和装・洋装スタイル⑥		トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成		
13	和装・洋装スタイル⑦		トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成		
14	和装・洋装スタイル⑧		トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成		
15	総合授業		まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	パーソナルヘア&メイクⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルヘア&メイクⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		1 30
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト		出版社	ユアサポート	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する。 お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	トータルメイクⅠ、トータルメイクⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	甲斐切 直美		実務経験	○	
実務内容	ブライダルヘアメイクサロンを20年経営し、現在もブライダル、芸能、ヘアメイク、舞台ヘアメイク他、ヘアメイクアップアーティストとして活動。実務経験を元に、特殊メイクに必要な知識・技術を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	和装・洋装スタイル①		トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成		
2	和装・洋装スタイル②		トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成		
3	和装・洋装スタイル③		トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成		
4	和装・洋装スタイル④		トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成		
5	和装・洋装スタイル⑤		トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成		
6	和装・洋装スタイル⑥		トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成		
7	和装・洋装スタイル⑦		トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成		
8	和装・洋装スタイル⑧		トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成		
9	和装・洋装スタイル⑨		トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成		
10	和装・洋装スタイル⑩		トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成		
11	和装・洋装スタイル⑪		トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成		
12	卒業制作①		テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)		
13	卒業制作②		テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)		
14	卒業制作③		テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)		
15	総合授業		まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	トータルメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	トータルメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		1 30
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストアドヴァンス（デジタルテキスト）		出版社	ユアサポート	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う。				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス(任意受験)				
関連科目	パーソナルヘア＆メイクⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	甲斐切 直美		実務経験		○
実務内容	ブライダルヘアメイクサロンを20年経営し、現在もブライダル、芸能、ヘアメイク、舞台ヘアメイク他、ヘアメイクアップアーティストとして活動。実務経験を元に、特殊メイクに必要な知識・技術を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション アドヴァンス検定詳細説明/練習①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの詳細説明/練習			
2	プロポーション、錯覚	プロポーション、錯覚(導入、実践)			
3	色とトーン	色の持つイメージ・トーンの持つイメージを理解し、各色が持つイメージワードを考え、組み合わせることで、メイクの幅が広がることを理解する			
4	カラーマップに沿ったメイク 質感①	カラーマップの見方を理解し、前回学んだ事を踏まえ相モデルでモデルに合ったメイクを実践また、質感の特徴も理解する			
5	カラーマップに沿ったメイク 質感②	カラーマップの見方を理解し、前回学んだ事を踏まえ相モデルでモデルに合ったメイクを実践また、質感の特徴も理解する			
6	パーソナルメイクアップ①	相モデルで骨格・パーツ診断をしパーソナルメイク実践			
7	パーソナルメイクアップ②	相モデルで骨格・パーツ診断をしパーソナルメイク実践			
8	スチールメイク①	作品作りに必要なテクニックを理解させ、スチールメイクに必要なベースづくりや色の出し方をマスターする			
9	スチールメイク②	SNSや雑誌等を活用してスチールメイクをする			
10	スチールメイク③	SNSや雑誌等を活用してスチールメイクをする			
11	フォトコンテスト対策①	テーマに合わせたデザイン画の作成、フルメイク練習			
12	フォトコンテスト対策②	フルメイク(テスト、振り返り)			
13	フォトコンテスト対策③	作品制作撮影			
14	フォトコンテスト対策④	作品制作撮影			
15	総合授業	まとめを行う			

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	トータルメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	トータルメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストアドヴァンス（デジタルテキスト）		出版社	ユアサポート	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う。				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト50％、提出物30％ 授業意欲等20％				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス(任意受験)				
関連科目	パーソナルヘア＆メイクⅡ、パーソナルヘア＆メイクⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	甲斐切 直美		実務経験		○
実務内容	ブライダルヘアメイクサロンを 2 0 年経営し、現在もブライダル、芸能、ヘアメイク、舞台ヘアメイク他、ヘアメイクアップアーティストとして活動。実務経験を元に、特殊メイクに必要な知識・技術を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	イメージチェンジ①		イメージチェンジ(実践)		
2	イメージチェンジ②		イメージチェンジ(実践)		
3	イメージチェンジ③		イメージチェンジ(実践)		
4	パーティーメイク①		パーティースタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成		
5	パーティーメイク②		パーティースタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成		
6	成人式メイク①		成人式スタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成		
7	成人式メイク②		成人式スタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成		
8	クイックチェンジメイク①		ワンポイントチェンジで人の印象を変える		
9	クイックチェンジメイク②		前回の内容を活かし、どこをチェンジしてどう印象を変えるか プレゼンも含めメイクをする		
10	クイックチェンジメイク③		テスト、振り返り		
11	卒業制作①		卒業制作用のデッサン画、メイク練習		
12	卒業制作②		メイク練習		
13	卒業制作③		卒業制作用のデッサン画、メイク		
14	卒業制作④		撮影、振り返り		
15	総合授業		まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ヨガ・ピラティスⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヨガ・ピラティスⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		30
使用教材	これ1冊できちんとわかるヨガ、ピラティス 学校教材か個人教材にてヨガマット、フォームローラーを使用		出版社	マイナビ出版	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ。 根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する。				
到達目標	ヨガやピラティスの身体と精神に及ぼす好影響を説明できる。 ヨガやピラティスのポーズを実施する。				
評価基準	テスト・小テスト：70% 授業態度：10% 提出物：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	岡崎 由佳		実務経験	○	
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして23年勤務をした実務経験を基に、ヨガ・ピラティスに必要な知識を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション、授業導入 ヨガとは、ピラティスとは	ヨガの基礎知識、ピラティスの知識、ヨガとピラティスの共通点／違いについて (実技なし)			
2	ヨガとは何か	ヨガのルーツ／歴史、ヨガとエクササイズの違い (実技：基本姿勢の実践)			
3	ヨガの目的と効果	ヨガの目的／肉体的な効果と精神的な効果 (実技：基本姿勢からのアーサナ)			
4	ヨガの基本プロセス	ヨガの実践方法／3つのプロセス、ヨガの実践のポイント (実技：基本姿勢からのアーサナ)			
5	ヨガの呼吸法	ヨガで呼吸が大切な理由、腹式呼吸と胸式呼吸の違いと効果 (実技：呼吸を意識してポーズの実践)			
6	ヨガの種類、Q&A	ヨガのいろいろな種類、ヨガへの素朴な疑問と答え (実技：ヨガフロー)			
7	ヨガの瞑想	瞑想とは、瞑想のメカニズム (実技：ヨガフロー)			
8	ヨガの瞑想	瞑想の効果、自分と向き合う (実技：ヨガフロー)			
9	ヨガの瞑想	シャバーサナの必要性 (実技：ヨガフロー、瞑想の実践)			
10	チャクラについて	チャクラの場所と効果 (実技：チャクラを意識したヨガ)			
11	女性の身体とヨガ	月の満ち欠けに合わせる暮らし (実技：月の満ち欠けに合わせたヨガ)			
12	ヨガ筆記テスト①	実技：ヨガフロー			
13	ヨガのプログラミング	ヨガのプログラムを自分で考える (実技：ヨガフロー)			
14	太陽礼拝	太陽礼拝とは、効果について (実技：太陽礼拝)			
15	パワーヨガ	パワーヨガの歴史と効果について (実技：パワーヨガ)			

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ヨガ・ピラティスⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヨガ・ピラティスⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		1 30
使用教材	これ1冊できちんとわかるヨガ、ピラティス 学校教材か個人教材にてヨガマット、フォームローラーを使用		出版社	マイナビ出版	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を知る。 根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する方法を知る。				
到達目標	美しい姿勢をアドバイスできるようになる。 ヨガの心身に与える影響を説明し、プログラミングができるようになる。 ピラティスの心身に与える影響を説明し、プログラミングができるようになる。				
評価基準	テスト・小テスト：70% 授業態度：10% 提出物：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	サロンワークⅡーG				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	岡崎 由佳		実務経験	○	
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして23年勤務をした実務経験を基に、ヨガ・ピラティスに必要な知識を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	ピラティスとは何か		ピラティスのルーツ／歴史、目指すところ（実技：基本姿勢について）		
2	ピラティスの目的と効果、基本プロセス		ピラティスの効果、実践のポイント、呼吸法（実技：基本姿勢からのピラティス）		
3	ピラティスの種類、Q＆A		ピラティスのいろいろな方法、ピラティスへの素朴な疑問と答え（実技：基本姿勢からのピラティス）		
4	正しい姿勢とは		姿勢の見方、正しい姿勢と悪い姿勢（実技：基本姿勢からのピラティス）		
5	姿勢のチェック		自分の姿勢をチェック、それぞれの対処法（実技：姿勢トラブル別改善ピラティス）		
6	悪い姿勢の原因		不良姿勢の原因ともたらすトラブルについて、二足歩行が骨格に与えた影響 (実技：姿勢トラブル別改善ピラティス)		
7	正しい姿勢を手に入れるには		姿勢を支える筋肉／抗重力筋と体幹のインナーマッスル（実技：インナーマッスルを意識したピラティス）		
8	身体の不調		身体の不調はなぜ起こるのか（実技：身体の不調改善ピラティス）		
9	筋膜について		筋膜とは何か、筋膜の特徴（実技：フォームローラーの実践）		
10	筋膜について		筋膜リリースの効果と実践方法（実技：フォームローラーの実践）		
11	ピラティス筆記テスト②		実技：フォームローラーの実践		
12	背中メゾット		簡単エクササイズ方法の紹介（実技：背中エクササイズ）		
13	部分エクササイズ		トラブルの原因／お腹、ヒップアップ、背中編（実技：集中エクササイズ／お腹、ヒップアップ、背中編）		
14	部分エクササイズ		トラブルの原因／くびれ、美脚、バストアップ編（実技：集中エクササイズ／くびれ、美脚、バストアップ編）		
15	課題作成		エクササイズを調べる（実技：ヨガ＆ピラティス）		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	デトックスⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	デトックスⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		1 15
使用教材	専門医が教えるデトックス入門 ※学校教材酵素ドリンク・ハーブティー		出版社	幻冬舎	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	食事・科学物質・環境・ストレスなど体内に蓄積しやすい有害物質を理解し、解毒排出方法を知る。				
到達目標	デトックスについて様々な知識を習得し、日常の中で実践できる。				
評価基準	テスト・小テスト：70％ 授業態度：10％ 提出物：20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ダイエット学、アロマテラピーⅢ、栄養学Ⅰ、Ⅱ、生理学Ⅰ、Ⅱ、皮膚学Ⅰ、Ⅱ、概論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	岡崎 由佳		実務経験	○	
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして2・3年勤務をした実務経験を基に、生活習慣・老化の対策を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション 導入	担当教員自己紹介・前期授業の方向付け、履修目標・評価基準について解説 各々が考える「デトックス」とは何か考える			
2	導入 デトックスとは	生活習慣のチェックし自身の生活習慣を振り返る 生活の中にありふれている沢山の毒について学ぶ			
3	体の毒とアンチエイジングの基礎知識	生活の中に溢れている毒を学ぶ			
4	【デトックス基礎編】 避けられない毒とは 酸化 糖化 炎症 老化のサインは糖尿病になって 現れる	避けられない毒、酸化について学ぶ			
5		糖化について学ぶ			
6		炎症について学ぶ			
7		毒の悪循環と糖尿病について学ぶ			
8	・グループワーク ・個人ワーク	・化学物質、重金属、酸化・糖化・炎症について各グループごとにまとめ ・化学物質、重金属や酸化、糖化、炎症について個人ごとにまとめ			
9	成績評価①	・化学物質、重金属、酸化・糖化・炎症について各グループごとに発表 ・化学物質、重金属や酸化、糖化、炎症のレポートを共有、復習する			
10	老化とアンチエイジング	老化とは何か アンチエイジングとは何かを学ぶ①			
11		アンチエイジングとは何か学ぶ② アンチエイジングの取り入れ方を学ぶ			
12	テスト 成績評価②	理解度の確認			
13	デトックスの仕組みや方法	代謝について学ぶ			
14		各種デトックスの方法を知る（食材、食事、水、アロマ、スパイス、ハーブ、運動、生活リズムなど）			
15	総合授業	前期 総まとめを行う			

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	デトックスⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	デトックスⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		1 15
使用教材	専門医が教えるデトックス入門 ※学校教材酵素ドリンク・ハーブティー		出版社	幻冬舎	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	食事・科学物質・環境・ストレスなど体内に蓄積しやすい有害物質を理解し、解毒排出方法を知る。				
到達目標	デトックスについて様々な知識を習得し、日常の中で実践できる。				
評価基準	テスト・小テスト：70％ 授業態度：10％ 提出物：20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ダイエット学、アロマテラピーⅢ、栄養学Ⅰ、Ⅱ、生理学Ⅰ、Ⅱ、皮膚学Ⅰ、Ⅱ、概論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	岡崎 由佳		実務経験		○
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして23年勤務をした実務経験を基に、身体の構造から肉体や精神への働きかけを教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	【デトックス実践編】 今日からできるデトックス 引き算するデトックスについて	身体のデトックスの仕組みを学ぶ			
2		過剰毒について学ぶ			
3		デトックス効果（全身）について学ぶ			
4		酸化予防について学ぶ			
5		糖化予防について学ぶ			
6		炎症の予防について学ぶ①			
7					
8		ファスティングについて学ぶ ※酵素ドリンク試飲			
9		水素ケアや水素療法について学ぶ			
10	まとめ	教科書の総まとめを行う			
11	テスト 成績評価③	理解度の確認			
12	デトックスの方法	デトックスに効果的な反射区やデトックス技術を知る			
13		各種デトックスの方法を知る（食材、食事、水、スパイス、ハーブ、運動、生活リズムなど） ※ハーブティー試飲			
14	成績評価④	・ベアに合った具体的なデトックス方法のアドバイスをデモで発表 ・自分に合った具体的なデトックス方法のアドバイスのレポート作成			
15	総合授業	総まとめを行う			

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ダイエット学Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	ダイエット学Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		1 30
使用教材	ダイエット検定 1・2級テキスト		出版社	日本ダイエット健康協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を知る。				
到達目標	健康で美しい体を維持するための方法を理解し 日本ダイエット健康協会ダイエット検定2級を取得する。				
評価基準	テスト・小テスト：40％ 検定取得30％ 授業態度：10％ 提出物：20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	デトックス・生理学・栄養学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	岡崎 由佳		実務経験	○	
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして23年勤務をした実務経験を基に、ダイエットの基礎知識を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	ダイエット学 導入 ダイエットとは	ダイエット検定を取得している芸能人や有名人など紹介、検定を取ることの意義（P21～26）、自己分析 第2章 Q1～Q5について学ぶ			
2	現代ダイエットの基礎知識	第3章 Q6～Q10			
3	体脂肪の基礎知識	第4章 Q11～Q15			
4	カロリーと栄養素とダイエット	第5章 Q16～Q20			
5		第5章 Q21～Q25			
6	模擬試験①	第2章～第5章 成績評価①			
7	代謝とリバウンドの基礎知識	第6章 Q26～Q31			
8	インスリンとGI値	第7章 Q32～Q34			
9	運動とダイエット方法論	第8章 Q35～Q40			
10	模擬テスト	成績評価②			
11	模試解説	模擬試験の解説			
12	検定前模擬試験	模擬試験と解説			
13	第1章 ダイエットと栄養素	PFCバランス/ビタミンとミネラル/飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸について			
14		ダイエットを促進する栄養素と食材/飲酒によって体脂肪が増えるメカニズム			
15	第2章 サプリメントとダイエット	サプリメントの役割と注意点/サプリメントの効率的使用方法			

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ダイエット学Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	ダイエット学Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		1 30
使用教材	ダイエット検定 1・2級テキスト		出版社	日本ダイエット健康協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を知る。				
到達目標	健康で美しい体を維持するための方法を理解し 日本ダイエット健康協会ダイエット検定2級を取得する。				
評価基準	テスト・小テスト：70% 授業態度：10% 提出物：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	デトックス・生理学・栄養学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	岡崎 由佳		実務経験		○
実務内容	エステティックサロンでエステティシャンとして2・3年勤務をした実務経験を基に、ダイエット方法を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	第3章 体脂肪と肥満と疾病リスク		メタボリックシンドロームの定義/ 特定検診・保健指導について 内蔵脂肪の悪玉構造/肥満の種類・定義と疾病リスク ～ 褐色脂肪細胞		
2	第4章 GI値と内分泌系の基礎		GI値の定義～同化・異化のシステムコントロール		
3	第5章 神経と食欲とダイエット		ダイエットと自立神経～食欲との付き合い方		
4	第6章 運動と筋肉と代謝		運動効果の基本～誰でもできるウォーキング		
5			筋肉トレーニングと基礎代謝の増加～DITエネルギー消費量比較		
6	模擬試験		成績評価③		
7	模試解説		模擬試験の解説		
8	第6章 運動と筋肉と代謝（補足）		運動実践		
9	総合まとめ		1級・2級検定内容の振り返り		
10	自分に合ったダイエット方法		今までの学びから卒業までの目標を立ててダイエットプランを作成		
11	自分に合ったダイエット方法		ダイエットプランを作成し発表する/食事ノートの作成		
12	流行ダイエット		現在の流行のダイエットを研究する		
13	相手に合ったダイエット方法を提案し カウンセリングする		ダイエットプランを立て提案する		
14	相手に合ったダイエット方法を提案し カウンセリングする		ダイエットプランを立て提案する		
15	総合授業		総まとめを行う		

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅡ－Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅡ－Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身につける。		
到達目標	・ 社会人として必要な基礎スキルが身についている。 ・ 相手の立場に立った物事の考え方ができる。 ・ 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる。		
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)		
認定条件	・ 実質時間数が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	岡崎 由佳	実務経験	
実務内容			

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅢ－Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅢ－Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身につける。		
到達目標	・ 社会人として必要な基礎スキルが身についている。 ・ 相手の立場に立った物事の考え方ができる。 ・ 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる。		
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)		
認定条件	・ 実質時間数が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	岡崎 由佳	実務経験	
実務内容			